

芽室町総合体育館バイオマス発電設備設置工事（建築主体）

図面目録							
建築図		構造図		電気設備図		機械設備図	
図面番号	図面名称	図面番号	図面名称	図面番号	図面名称	図面番号	図面名称
A-01	表紙・図面目録	S-01	構造設計標準仕様書	E-01	電気設備工事特記仕様書	M-01	機械設備工事特記仕様書
A-02	工事特記仕様書（1）	S-02	鉄筋コンクリート構造配筋標準図（1）	E-02	プラント建屋 電灯配線図	M-02	配置図（機械設備）
A-03	工事特記仕様書（2）	S-03	鉄筋コンクリート構造配筋標準図（2）	E-03	プラント建屋 コンセント配線図	M-03	衛生設備 平面図
A-04	工事特記仕様書（3）	S-04	基礎伏図・床伏図	E-04	プラント建屋 動力配線設備	M-04	換気設備 平面図・機器一覧表
A-05	敷地現況図	S-05	柱脚伏図				
A-06	全体配置図・敷地求積図	S-06	基礎詳細図				
A-07	案内図・配置図（外構図）・設計概要・面積表	S-07	鉄骨構造標準図				
A-08	仕上表・平面図	S-08	鉄骨梁伏図				
A-09	立面図	S-09	鉄骨アンカープラン				
A-10	矩計図（1）	S-10	鉄骨軸組図（1）				
A-11	矩計図（2）	S-11	鉄骨軸組図（2）				
A-12	部分詳細図	S-12	鉄骨部材・Jointリスト				
A-13	建具キープラン	S-13	鉄骨詳細図				
A-14	建具表・開口部詳細図						
図面枚数	14枚	図面枚数	13枚	図面枚数		図面枚数	
						合計図面枚数	27枚



総合コンサルタント

株式会社 **ズコーシャ**

帯広市西18条北1丁目17番地
TEL 0155-33-4400
FAX 0155-33-7100

1級建築士事務所（十）登録第157号
1級建築士（大臣）登録第303910号
渡部 韶彦

工事名称 **芽室町総合体育館バイオマス発電設備設置工事（建築主体）**

DATE H 25. 11.

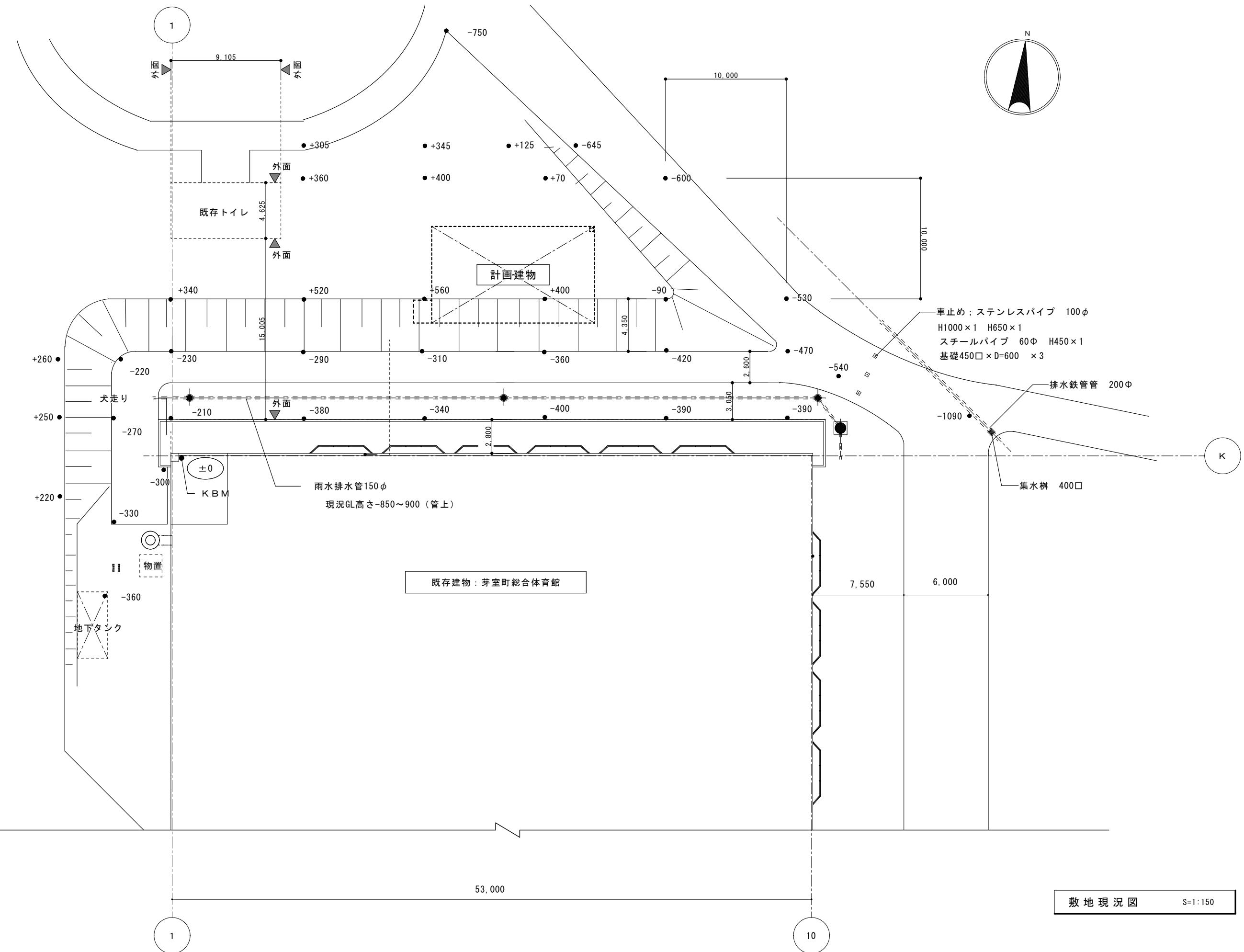
図面名称 表紙・図面目録

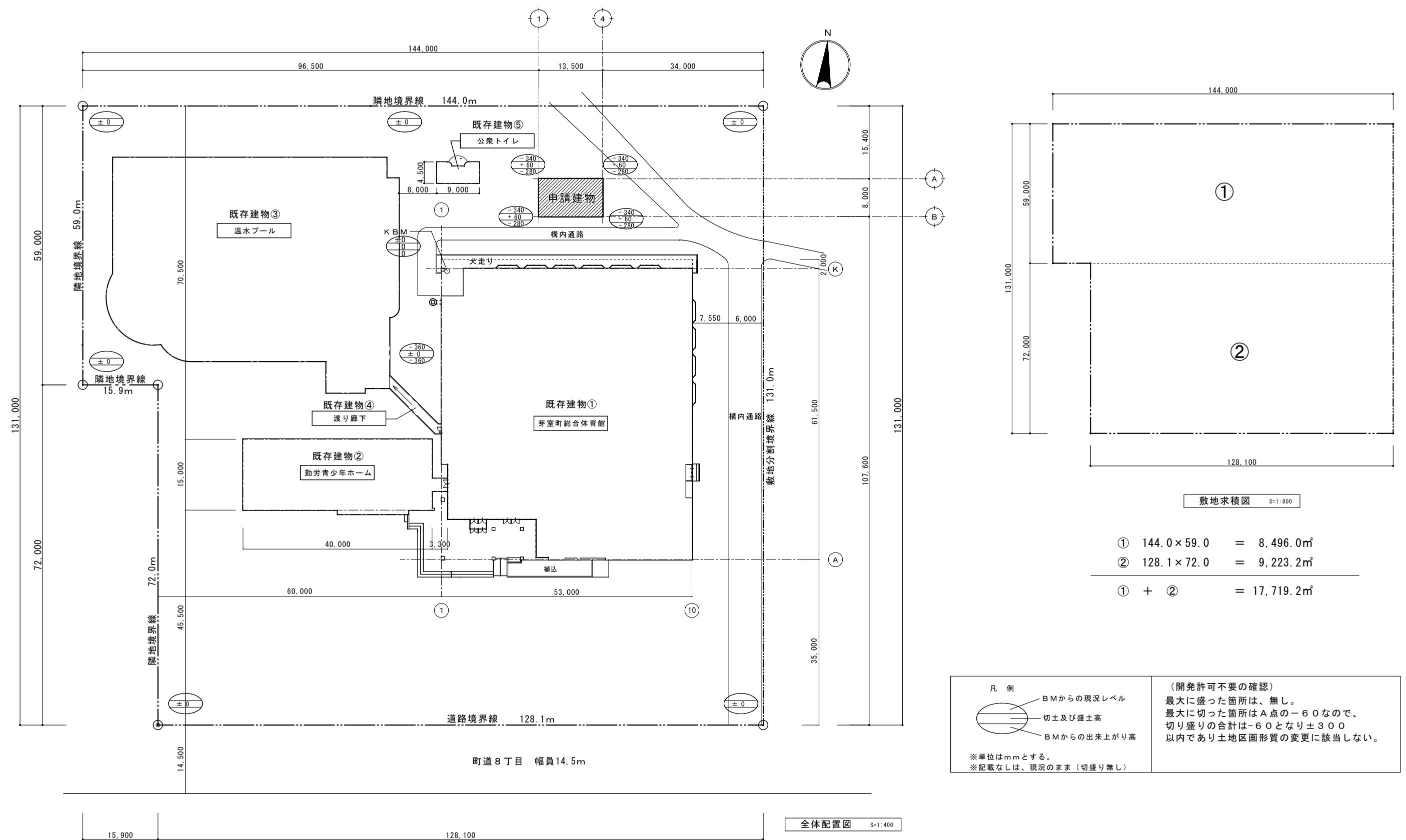
SCALE _____
NO. A - 01

工事特記仕様書																																																																																																																																																																																																																																																					
章		項		目		特記事項		章		項		特記事項		章		項		特記事項																																																																																																																																																																																																																																			
Ⅰ 工事概要及び範囲										Ⅱ 2. 環境物品等の調達										Ⅲ 3. 施工区分(分離発注の場合のみ記入)																																																																																																																																																																																																																																	
1. 工事場所 芽室町東1条8丁目1-1の内、東3条8丁目1-1の内										2. 環境物品等の調達										3. 施工区分(分離発注の場合のみ記入)																																																																																																																																																																																																																																	
2. 工事範囲 ※下記●は、工事対象範囲を示す。										3. 施工区分(分離発注の場合のみ記入)										4. 指定部分工事																																																																																																																																																																																																																																	
<table border="1"> <tr> <td>名 称</td> <td>構造種別</td> <td>数 量</td> <td>単 位</td> <td>備 考</td> </tr> <tr> <td>● バイオマス発電設備</td> <td>S造平屋</td> <td>107 10</td> <td>m²</td> <td>床面積</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>										名 称	構造種別	数 量	単 位	備 考	● バイオマス発電設備	S造平屋	107 10	m ²	床面積	○					○					○					<table border="1"> <tr> <td>名 称</td> <td>構造種別</td> <td>数 量</td> <td>単 位</td> <td>備 考</td> </tr> <tr> <td>● バイオマス発電設備</td> <td>S造平屋</td> <td>107 10</td> <td>m²</td> <td>床面積</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>										名 称	構造種別	数 量	単 位	備 考	● バイオマス発電設備	S造平屋	107 10	m ²	床面積	○					○					○					<table border="1"> <tr> <td>名 称</td> <td>構造種別</td> <td>数 量</td> <td>単 位</td> <td>備 考</td> </tr> <tr> <td>● バイオマス発電設備</td> <td>S造平屋</td> <td>107 10</td> <td>m²</td> <td>床面積</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>										名 称	構造種別	数 量	単 位	備 考	● バイオマス発電設備	S造平屋	107 10	m ²	床面積	○					○					○					<table border="1"> <tr> <td>名 称</td> <td>構造種別</td> <td>数 量</td> <td>単 位</td> <td>備 考</td> </tr> <tr> <td>● バイオマス発電設備</td> <td>S造平屋</td> <td>107 10</td> <td>m²</td> <td>床面積</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>										名 称	構造種別	数 量	単 位	備 考	● バイオマス発電設備	S造平屋	107 10	m ²	床面積	○					○					○																																																																																																														
名 称	構造種別	数 量	単 位	備 考																																																																																																																																																																																																																																																	
● バイオマス発電設備	S造平屋	107 10	m ²	床面積																																																																																																																																																																																																																																																	
○																																																																																																																																																																																																																																																					
○																																																																																																																																																																																																																																																					
○																																																																																																																																																																																																																																																					
名 称	構造種別	数 量	単 位	備 考																																																																																																																																																																																																																																																	
● バイオマス発電設備	S造平屋	107 10	m ²	床面積																																																																																																																																																																																																																																																	
○																																																																																																																																																																																																																																																					
○																																																																																																																																																																																																																																																					
○																																																																																																																																																																																																																																																					
名 称	構造種別	数 量	単 位	備 考																																																																																																																																																																																																																																																	
● バイオマス発電設備	S造平屋	107 10	m ²	床面積																																																																																																																																																																																																																																																	
○																																																																																																																																																																																																																																																					
○																																																																																																																																																																																																																																																					
○																																																																																																																																																																																																																																																					
名 称	構造種別	数 量	単 位	備 考																																																																																																																																																																																																																																																	
● バイオマス発電設備	S造平屋	107 10	m ²	床面積																																																																																																																																																																																																																																																	
○																																																																																																																																																																																																																																																					
○																																																																																																																																																																																																																																																					
○																																																																																																																																																																																																																																																					
3. 施工工事に係る資材の再資源化に関する法律の対象の有無 ○有り ●無し										4. 指定部分工事										5. 別途工事																																																																																																																																																																																																																																	
4. 指定部分工事										5. 別途工事										6. 施工区分(分離発注の場合のみ記入)																																																																																																																																																																																																																																	
(1) 工事範囲 発電施設上屋										(2) 指定期契約日より 平成 年 月 日まで										(3) バイオマス発電設備工事(ヨウジネレーションシステム工事)																																																																																																																																																																																																																																	
6. 施工区分(分離発注の場合のみ記入)										7. 技能士										8. 施工中の安全確保及び環境保護																																																																																																																																																																																																																																	
<table border="1"> <tr> <td>工種</td> <td>建築</td> <td>電気</td> <td>暖房</td> <td>衛生</td> <td>備考</td> </tr> <tr> <td>躯体の設備配管用のリフ、箱抜等及びモリ等の充填</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>補強は建築</td> </tr> <tr> <td>上記の補強</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>埋込電灯、スピーカー、ファン等</td> </tr> <tr> <td>設備機器用天井、壁、床下地の開口及び開口補強</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>補強は建築</td> </tr> <tr> <td>設備機器用天井、壁、床下材の切込</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>設備用天井、壁、床点検口</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>防火用煙感知器、自動閉鎖装置</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>設備機器用基礎</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>配管は衛生</td> </tr> <tr> <td>トドリの排水金具</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>換気扇等取付</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>同上 防雪フード</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>外壁面入排気ガラリ及び防風板</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> </tr> </table>										工種	建築	電気	暖房	衛生	備考	躯体の設備配管用のリフ、箱抜等及びモリ等の充填	○	○	○	○	補強は建築	上記の補強	○				埋込電灯、スピーカー、ファン等	設備機器用天井、壁、床下地の開口及び開口補強	○	○	○	○	補強は建築	設備機器用天井、壁、床下材の切込	○	○	○	○		設備用天井、壁、床点検口	○					防火用煙感知器、自動閉鎖装置	○					設備機器用基礎	○	○	○	○	配管は衛生	トドリの排水金具	○	○	○	○		換気扇等取付	○	○	○	○		同上 防雪フード	○	○	○	○		外壁面入排気ガラリ及び防風板	○	○	○	○		<table border="1"> <tr> <td>工種</td> <td>建築</td> <td>電気</td> <td>暖房</td> <td>衛生</td> <td>備考</td> </tr> <tr> <td>躯体の設備配管用のリフ、箱抜等及びモリ等の充填</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>補強は建築</td> </tr> <tr> <td>上記の補強</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>埋込電灯、スピーカー、ファン等</td> </tr> <tr> <td>設備機器用天井、壁、床下地の開口及び開口補強</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>補強は建築</td> </tr> <tr> <td>設備機器用天井、壁、床下材の切込</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>設備用天井、壁、床点検口</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>防火用煙感知器、自動閉鎖装置</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>設備機器用基礎</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>配管は衛生</td> </tr> <tr> <td>トドリの排水金具</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>換気扇等取付</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>同上 防雪フード</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>外壁面入排気ガラリ及び防風板</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> </tr> </table>										工種	建築	電気	暖房	衛生	備考	躯体の設備配管用のリフ、箱抜等及びモリ等の充填	○	○	○	○	補強は建築	上記の補強	○				埋込電灯、スピーカー、ファン等	設備機器用天井、壁、床下地の開口及び開口補強	○	○	○	○	補強は建築	設備機器用天井、壁、床下材の切込	○	○	○	○		設備用天井、壁、床点検口	○					防火用煙感知器、自動閉鎖装置	○					設備機器用基礎	○	○	○	○	配管は衛生	トドリの排水金具	○	○	○	○		換気扇等取付	○	○	○	○		同上 防雪フード	○	○	○	○		外壁面入排気ガラリ及び防風板	○	○	○	○		<table border="1"> <tr> <td>工種</td> <td>建築</td> <td>電気</td> <td>暖房</td> <td>衛生</td> <td>備考</td> </tr> <tr> <td>躯体の設備配管用のリフ、箱抜等及びモリ等の充填</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>補強は建築</td> </tr> <tr> <td>上記の補強</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>埋込電灯、スピーカー、ファン等</td> </tr> <tr> <td>設備機器用天井、壁、床下地の開口及び開口補強</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>補強は建築</td> </tr> <tr> <td>設備機器用天井、壁、床下材の切込</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>設備用天井、壁、床点検口</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>防火用煙感知器、自動閉鎖装置</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>設備機器用基礎</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>配管は衛生</td> </tr> <tr> <td>トドリの排水金具</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>換気扇等取付</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>同上 防雪フード</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>外壁面入排気ガラリ及び防風板</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> </tr> </table>										工種	建築	電気	暖房	衛生	備考	躯体の設備配管用のリフ、箱抜等及びモリ等の充填	○	○	○	○	補強は建築	上記の補強	○				埋込電灯、スピーカー、ファン等	設備機器用天井、壁、床下地の開口及び開口補強	○	○	○	○	補強は建築	設備機器用天井、壁、床下材の切込	○	○	○	○		設備用天井、壁、床点検口	○					防火用煙感知器、自動閉鎖装置	○					設備機器用基礎	○	○	○	○	配管は衛生	トドリの排水金具	○	○	○	○		換気扇等取付	○	○	○	○		同上 防雪フード	○	○	○	○		外壁面入排気ガラリ及び防風板	○	○	○	○	
工種	建築	電気	暖房	衛生	備考																																																																																																																																																																																																																																																
躯体の設備配管用のリフ、箱抜等及びモリ等の充填	○	○	○	○	補強は建築																																																																																																																																																																																																																																																
上記の補強	○				埋込電灯、スピーカー、ファン等																																																																																																																																																																																																																																																
設備機器用天井、壁、床下地の開口及び開口補強	○	○	○	○	補強は建築																																																																																																																																																																																																																																																
設備機器用天井、壁、床下材の切込	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																	
設備用天井、壁、床点検口	○																																																																																																																																																																																																																																																				
防火用煙感知器、自動閉鎖装置	○																																																																																																																																																																																																																																																				
設備機器用基礎	○	○	○	○	配管は衛生																																																																																																																																																																																																																																																
トドリの排水金具	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																	
換気扇等取付	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																	
同上 防雪フード	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																	
外壁面入排気ガラリ及び防風板	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																	
工種	建築	電気	暖房	衛生	備考																																																																																																																																																																																																																																																
躯体の設備配管用のリフ、箱抜等及びモリ等の充填	○	○	○	○	補強は建築																																																																																																																																																																																																																																																
上記の補強	○				埋込電灯、スピーカー、ファン等																																																																																																																																																																																																																																																
設備機器用天井、壁、床下地の開口及び開口補強	○	○	○	○	補強は建築																																																																																																																																																																																																																																																
設備機器用天井、壁、床下材の切込	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																	
設備用天井、壁、床点検口	○																																																																																																																																																																																																																																																				
防火用煙感知器、自動閉鎖装置	○																																																																																																																																																																																																																																																				
設備機器用基礎	○	○	○	○	配管は衛生																																																																																																																																																																																																																																																
トドリの排水金具	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																	
換気扇等取付	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																	
同上 防雪フード	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																	
外壁面入排気ガラリ及び防風板	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																	
工種	建築	電気	暖房	衛生	備考																																																																																																																																																																																																																																																
躯体の設備配管用のリフ、箱抜等及びモリ等の充填	○	○	○	○	補強は建築																																																																																																																																																																																																																																																
上記の補強	○				埋込電灯、スピーカー、ファン等																																																																																																																																																																																																																																																
設備機器用天井、壁、床下地の開口及び開口補強	○	○	○	○	補強は建築																																																																																																																																																																																																																																																
設備機器用天井、壁、床下材の切込	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																	
設備用天井、壁、床点検口	○																																																																																																																																																																																																																																																				
防火用煙感知器、自動閉鎖装置	○																																																																																																																																																																																																																																																				
設備機器用基礎	○	○	○	○	配管は衛生																																																																																																																																																																																																																																																
トドリの排水金具	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																	
換気扇等取付	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																	
同上 防雪フード	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																	
外壁面入排気ガラリ及び防風板	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																	
Ⅱ 各工事										Ⅲ 9. 交通安全管理										Ⅳ 10. 施工完成時の提出書類等																																																																																																																																																																																																																																	
1. 国面(工事数量絶縁表を含む)及び、この特記仕様書に記載されていない事項は、全て国土交通省大臣官房営建部監修「公共建築工事標準仕様書 平成25年版(各工事編)」、「公共建築改修工事標準仕様書 平成25年版(各工事編)」、「建築物解体工事共通仕様書 平成18年版」及び、「北海道建設部土木工事共通仕様書(平成25年度版)」による。										1. 着工するにあたり、出来るだけ遅やかに工事の施工中の交通安全管理計画を策定し監督職員に提出する。										1. 完成図																																																																																																																																																																																																																																	
2. 特記事項の適用については次による。										2. 着工するにあたり、出来るだけ遅やかに工事の施工中の交通安全管理状況の把握に努め、次を協議する。										2. ○改修工事																																																																																																																																																																																																																																	
イ. 章は○印を、項目は△印を塗りつぶしたものとし、④印のついたものがある場合は、共に適用する。										3. ①着工するにあたり、出来るだけ遅やかに工事の施工中の交通安全管理状況の把握に努め、監督職員に報告する。										3. 完成図																																																																																																																																																																																																																																	
ロ. 特記事項の△印を塗りつぶしたものとし、④印のついたものがある場合は、共に適用する。										4. ①着工するにあたり、出来るだけ遅やかに工事の施工中の交通安全管理状況の把握に努め、監督職員に報告する。										4. ○改修工事																																																																																																																																																																																																																																	
ハ. 特記事項の△印を塗りつぶしたものとし、④印のついたものがある場合は、共に適用する。										5. ①着工するにあたり、出来るだけ遅やかに工事の施工中の交通安全管理状況の把握に努め、監督職員に報告する。										5. ○改修工事																																																																																																																																																																																																																																	
ニ. 特記事項に記載の()内表示番号は、標準仕様書の該当項目、該当図又は該当表を示す。										6. ①着工するにあたり、出来るだけ遅やかに工事の施工中の交通安全管理状況の把握に努め、監督職員に報告する。										6. ○改修工事																																																																																																																																																																																																																																	
3. この特記仕様書に施工部位の記載のないものは図面によるものとする。										7. ①着工するにあたり、出来るだけ遅やかに工事の施工中の交通安全管理状況の把握に努め、監督職員に報告する。										7. ○改修工事																																																																																																																																																																																																																																	
4. 本工事における工事監理業務委託の有無 *有り										8. ①着工するにあたり、出来るだけ遅やかに工事の施工中の交通安全管理状況の把握に努め、監督職員に報告する。										8. ○改修工事																																																																																																																																																																																																																																	
5. 工事に係る留意事項及び施工条件は、次のとおりとする。										9. ①着工するにあたり、出来るだけ遅やかに工事の施工中の交通安全管理状況の把握に努め、監督職員に報告する。										9. ○改修工事																																																																																																																																																																																																																																	
6. ○改修工事										10. ①着工するにあたり、出来るだけ遅やかに工事の施工中の交通安全管理状況の把握に努め、監督職員に報告する。										10. ○改修工事																																																																																																																																																																																																																																	
7. ○改修工事										11. ①着工するにあたり、出来るだけ遅やかに工事の施工中の交通安全管理状況の把握に努め、監督職員に報告する。										11. ○改修工事																																																																																																																																																																																																																																	
8. ○改修工事										12. ①着工するにあたり、出来るだけ遅やかに工事の施工中の交通安全管理状況の把握に努め、監督職員に報告する。										12. ○改修工事																																																																																																																																																																																																																																	
9. ○改修工事										13. ①着工するにあたり、出来るだけ遅やかに工事の施工中の交通安全管理状況の把握に努め、監督職員に報告する。										13. ○改修工事																																																																																																																																																																																																																																	
10. ○改修工事										14. ①着工するにあたり、出来るだけ遅やかに工事の施工中の交通安全管理状況の把握に努め、監督職員に報告する。										14. ○改修工事																																																																																																																																																																																																																																	
11. ○改修工事										15. ①着工するにあたり、出来るだけ遅やかに工事の施工中の交通安全管理状況の把握に努め、監督職員に報告する。										15. ○改修工事																																																																																																																																																																																																																																	
12. ○改修工事										16. ①着工するにあたり、出来るだけ遅やかに工事の施工中の交通安全管理状況の把握に努め、監督職員に報告する。										16. ○改修工事																																																																																																																																																																																																																																	
13. ○改修工事										17. ①着工するにあたり、出来るだけ遅やかに工事の施工中の交通安全管理状況の把握に努め、監督職員に報告する。										17. ○改修工事																																																																																																																																																																																																																																	
14. ○改修工事										18. ①着工するにあたり、出来るだけ遅やかに工事の施工中の交通安全管理状況の把握に努め、監督職員に報告する。										18. ○改修工事																																																																																																																																																																																																																																	
15. ○改修工事										19. ①着工するにあたり、出来るだけ遅やかに工事の施工中の交通安全管理状況の把握に努め、監督職員に報告する。										19. ○改修工事																																																																																																																																																																																																																																	
16. ○改修工事										20. ①着工するにあたり、出来るだけ遅やかに工事の施工中の交通安全管理状況の把握に努め、監督職員に報告する。										20. ○改修工事																																																																																																																																																																																																																																	
17. ○改修工事										21. ①着工するにあたり、出来るだけ遅やかに工事の施工中の交通安全管理状況の把握に努め、監督職員に報告する。										21. ○改修工事																																																																																																																																																																																																																																	
18. ○改修工事										22. ①着工するにあたり、出来るだけ遅やかに工事の施工中の交通安全管理状況の把握に努め、監督職員に報告する。										22. ○改修工事																																																																																																																																																																																																																																	
19. ○改修工事										23. ①着工するにあたり、出来るだけ遅やかに工事の施工中の交通安全管理状況の把握に努め、監督職員に報告する。										23. ○改修工事																																																																																																																																																																																																																																	
20. ○改修工事										24. ①着工するにあたり、出来るだけ遅やかに工事の施工中の交通安全管理状況の把握に努め、監督職員に報告する。										24. ○改修工事																																																																																																																																																																																																																																	
21. ○改修工事										25. ①着工するにあたり、出来るだけ遅やかに工事の施工中の交通安全管理状況の把握に努め、監督職員に報告する。										25. ○改修工事																																																																																																																																																																																																																																	
22. ○改修工事										26. ①着工するにあたり、出来るだけ遅やかに工事の施工中の交通安全管理状況の把握に努め、監督職員に報告する。										26. ○改修工事																																																																																																																																																																																																																																	
23. ○改修工事										27. ①着工するにあたり、出来るだけ遅やかに工事の施工中の交通安全管理状況の把握に努め、監督職員に報告する。										27. ○改修工事																																																																																																																																																																																																																																	
24. ○改修工事										28. ①着工するにあたり、出来るだけ遅やかに工事の施工中の交通安全管理状況の把握に努め、監督職員に報告する。										28. ○改修工事																																																																																																																																																																																																																																	
25. ○改修工事										29. ①着工するにあたり、出来るだけ遅やかに工事の施工中の交通安全管理状況の把握に努め、監督職員に報告する。										29. ○改修工事																																																																																																																																																																																																																																	
26. ○改修工事										30. ①着工するにあたり、出来るだけ遅やかに工事の施工中の交通安全管理状況の把握に努め、監督職員に報告する。										30. ○改修工事																																																																																																																																																																																																																																	
27. ○改修工事										31. ①着工するにあたり、出来るだけ遅やかに工事の施工中の交通安全管理状況の把握に努め、監督職員に報告する。										31. ○改修工事																																																																																																																																																																																																																																	
28. ○改修工事										32. ①着工するにあたり、出来るだけ遅やかに工事の施工中の交通安全管理状況の把握に努め、監督職員に報告する。										32. ○改修工事																																																																																																																																																																																																																																	
29. ○改修工事										33. ①着工するにあたり、出来るだけ遅やかに工事の施工中の交通安全管理状況の把握に努め、監督職員に報告する。										33. ○改修工事																																																																																																																																																																																																																																	
30. ○改修工事										34. ①着工するにあたり、出来るだけ遅やかに工事の施工中の交通安全管理状況の把握に努め、監督職員に報告する。										34. ○改修工事																																																																																																																																																																																																																																	
31. ○改修工事										35. ①着工するにあたり、出来るだけ遅やかに工事の施工中の交通安全管理状況の把握に努め、監督職員に報告する。										35. ○改修工事																																																																																																																																																																																																																																	
32. ○改修工事										36. ①着工するにあたり、出来るだけ遅やかに工事の施工中の交通安全管理状況の把握に努め、監督職員に報告する。										36. ○改修工事																																																																																																																																																																																																																																	
33. ○改修工事										37. ①着工するにあたり、出来るだけ遅やかに工事の施工中の交通安全管理状況の把握に努め、監督職員に報告する。										37. ○改修工事																																																																																																																																																																																																																																	
34. ○改修工事										38. ①着工するにあたり、出来るだけ遅やかに工事の施工中の交通安全管理状況の把握に努め、監督職員に報告する。										38. ○改修工事																																																																																																																																																																																																																																	
35. ○改修工事										39. ①着工するにあたり、出来るだけ遅やかに工事の施工中の交通安全管理状況の把握に努め、監督職員に報告する。										39. ○改修工事																																																																																																																																																																																																																																	
36. ○改修工事										40. ①着工するにあたり、出来るだけ遅やかに工事の施工中の交通安全管理状況の把握に努め、監督職員に報告する。										40. ○改修工事																																																																																																																																																																																																																																	
37. ○改修工事										41. ①着工するにあたり、出来るだけ遅やかに工事の施工中の交通安全管理状況の把握に努め、監督職員に報告する。										41. ○改修工事																																																																																																																																																																																																																																	
38. ○改修工事										42. ①着工するにあたり、出来るだけ遅やかに工事の施工中の交通安全管理状況の把握に努め、監督職員に報告する。										42. ○改修工事																																																																																																																																																																																																																																	
39. ○改修工事										43. ①着工するにあたり、出来るだけ遅やかに工事の施工中の交通安全管理状況の把握に努め、監督職員に報告する。										43. ○改修工事																																																																																																																																																																																																																																	
40. ○改修工事										44. ①着工するにあたり、出来るだけ遅やかに工事の施工中の交通安全管理状況の把握に努め、監督職員に報告する。										44. ○改修工事																																																																																																																																																																																																																																	
41. ○改修工事										45. ①着工するにあたり、出来るだけ遅やかに工事の施工中の交通安全管理状況の把握に努め、監督職員に報告する。										45. ○改修工事																																																																																																																																																																																																																																	
42. ○改修工事										46. ①着工するにあたり、出来るだけ遅やかに工事の施工中の交通安全管理状況の把握に努め、監督職員に報告する。										46. ○改修工事																																																																																																																																																																																																																																	

章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項																																																																															
●	監督職員事務所及び備品等	監督職員事務所 *設ける (○10m ○20m ○35m ○65m ○100m) 程度 ●設けない 備品は次に掲げるものの中から監督職員との協議による。 机・椅子・書類・黒板・寒暖計 ゴム長靴・雨合羽・保護帽・鏡中電灯・安全帯 請負者加入電話の子機 衣類ロッカー・暖房機器・消火器・湯沸器・掃除機	● 1. レディミクストコンクリートの種類 * I 類 ○ II 類 (表6.1.1) ※ JIS認定表示工場で、かつ、(社)コンクリート工学協会から認定されたコンクリート主任技士又はコンクリート技術あるいはこれらと同等以上の技術者が常駐しており、配合設計及び品質管理等に適切に実施できる工場(全国品質管理監査会議の策定した統一監査基準に基づく監査に合格した工場等)から選定することとし、これにより選い場合は監督職員と協議すること。	● 2. セメントの種類 ○セメント名 ● 3. 骨材 (1) 砂利及び砂のアルカリシリカ反応性区分 * A ○ B (6.3.3) (2) 砕石及び砂のアルカリシリカ反応性区分 * A ○ B ※ 試験機関は、公的機関又はこれに準ずる後援(大学、都道府県の試験機関、公認法人である民間試験機関、中小企業近代化促進法又は中小企業近代化資金助成法に基づく構造改善計画等によって設立された共同試験場、その他の信頼に値する機関)であること。 (3) 骨材の最大寸法: * 2.5m ○ 2.0	● 4. 混合剤 * JIS A 6204 AE減水剤又は高性能AE減水剤 ○その他 ()	● 5. 普通コンクリート (1) 設計基準強度 Fc (N/mm ²) は次のとおりとする。 ○ 1.8 N/mm ² 施工部位: * 2.1 N/mm ² 施工部位: * N/mm ² 施工部位: (2) 調合強度は (6.4.5) による。 (3) 所要スランプ: 基礎、地中ばかり (* 1.5 ○ 1.8) cm とし、柱、はり、床、壁で 1.8cm とする。	● 6. 無防コンクリート 無防コンクリートの適用は、次による。 施工部位 設計基準強度 (N/mm ²) スランプ (cm) ● 滲出コンクリート * 1.8 ○ 1.5 ○ 1.8 ● ラップコンクリート * 1.8 ○ 1.5 ○ 1.8 ○ 防水押えコンクリート * 1.8 ○ 1.5 ○ 1.8 ○ * 1.8 ○ 1.5 ○ 1.8	● 7. 基中コンクリート ● 8. マスコンクリート ● 9. 打放仕上げの種別 ○ A種 * B種 ○ C種 (表6.2.3)	● 10. 床版せき板 * 合板(樹種は、広葉樹、針葉樹又はこれらを複合したもの) (6.9.3) ○ 鋼製打込み型枠 施工所: * 図面による (建設技術評価「鉄筋コンクリート建築物等における床型枠用鋼製デッキプレートの開発」において評価取得したもの) ○ ハーフP C床版 施工所: * 図面による ○ その他 () 施工所: * 図面による	● 1. 試験杭 試験杭の位置・数量は、杭伏図等による。 (打探工法) 杭の種類及び断面は本杭と同じとし、長さは本杭 + m とする。 (その他の工法) 杭の種類・断面・長さは本杭と同じとし、試験掘を行う。	● 2. 杭の載荷試験 * 行わない ○ 行う (4.2.3) (1) 試験の種類 ○ 鉛直載荷試験 ○ 水平載荷試験 (2) 試験の方法: (3) 試験所: _____	● 3. 地盤の載荷試験 * 行わない ○ 行う (1) 試験位置及び載荷重: 長期許容応力度 150kN/m ² × 3 (2) 試験方法: 平板載荷試験	● 4. 既製コンクリート杭地業 (1) 本杭の位置・数量・種別・断面・長さ及び長期設計支持力は、杭伏図等による。 (2) 本工事に使用する杭の種類等は、次による。 種類の記号: _____ 区分: _____	● 5. 地盤の載荷試験 * 行わない ○ 行う (1) 試験位置・数量・種別・断面・長さ及び長期設計支持力は、杭伏図等による。 (2) 試験方法: 平板載荷試験	● 6. 地盤の載荷試験 * 行わない ○ 行う (1) 本杭の位置・数量・種別・断面・長さ及び長期設計支持力は、杭伏図等による。 (2) 本杭の位置・数量・種別・断面・長さ及び長期設計支持力は、杭伏図等による。 (3) 施工方法 ○ 打込み工法 ○ 特定埋込杭工法 ○ その他 ()	● 7. 地盤の載荷試験 * 行わない ○ 行う (1) 本杭の位置・数量・種別・断面・長さ及び長期設計支持力は、杭伏図等による。 (2) 本杭の位置・数量・種別・断面・長さ及び長期設計支持力は、杭伏図等による。 (3) 施工方法 ○ 打込み工法 ○ 特定埋込杭工法 ○ その他 ()	● 8. 地盤の載荷試験 * 行わない ○ 行う (1) 本杭の位置・数量・種別・断面・長さ及び長期設計支持力は、杭伏図等による。 (2) 本杭の位置・数量・種別・断面・長さ及び長期設計支持力は、杭伏図等による。 (3) 施工方法 ○ 打込み工法 ○ 特定埋込杭工法 ○ その他 ()	● 9. 地盤の載荷試験 * 行わない ○ 行う (1) 本杭の位置・数量・種別・断面・長さ及び長期設計支持力は、杭伏図等による。 (2) 本杭の位置・数量・種別・断面・長さ及び長期設計支持力は、杭伏図等による。 (3) 施工方法 ○ 打込み工法 ○ 特定埋込杭工法 ○ その他 ()	● 10. 地盤の載荷試験 * 行わない ○ 行う (1) 本杭の位置・数量・種別・断面・長さ及び長期設計支持力は、杭伏図等による。 (2) 本杭の位置・数量・種別・断面・長さ及び長期設計支持力は、杭伏図等による。 (3) 施工方法 ○ 打込み工法 ○ 特定埋込杭工法 ○ その他 ()	● 1. 施工管理技術者 * 使用する ○ 使用しない (7.1.4)	● 2. 鉄骨製作工場 鉄骨加工業者の資格 建築基準法第7条の4第5項に基づき国土交通大臣から性能評価基準として認可を受けた(社)全国鉄骨工業会又は(株)日本鉄骨評価センターの「鉄骨製作工場の性能評価基準」に定める下記のグレードとして国土交通大臣から認定を受けた工場とする。 ○ S ○ H ○ M ○ R ○ 以上とする	● 3. 鋼材の種類 鋼材の種類は次による。 該当 規格名 称 等 種類の記号	● 4. 高力ボルトの区分 (1) 種類 ● トルシア形高力ボルト セットの種類は2種 (S10T) とする。 ○ JIS S形高力ボルト セットの種類は2種 (F10T) とする。 (2) すべり係数試験: * 行わない ○ 行う	● 5. デッキプレート 構造用デッキプレート 合成スラブ用デッキプレート 材質・形状・寸法: * 図面による	● 6. 溶接部の試験 超音波探傷試験 * 適用する ○ 適用しない (7.6.11) * 4.0% ○ 2.5% (表7.6.2-4) * 第6水準 ○ 第7水準 (表7.6.2)	● 7. 耐火被覆 種 別 * 耐火材吹付け ○ 耐火板張り ○ 耐火材巻付け ○ ラス張りモルタル塗り 所要性能: * 30分耐火 ○ 1時間耐火 (7.7.6)	● 8. アンカーボルトの埋込 木工事 ● 9. 柱底の均しモルタル 柱底別 ○ A種 * B種 ○ C種 (7.10.3)	● 10. 柱底の均しモルタル 柱底別 ○ A種 * B種 ○ C種 (7.10.3)	● 1. 1. 施工管理技術者 * 使用する ○ 使用しない (7.1.4)	● 2. 1. 床タイル張り 再生材利用タイルの使用 * 使用する ○ 使用しない (11.2.1) 形狀寸法 きじ うわぐすり 役物	● 3. 1. 鋼材の種類 鋼材の種類は次による。 該当 規格名 称 等 種類の記号	● 4. 1. 高力ボルトの区分 (1) 種類 ● トルシア形高力ボルト セットの種類は2種 (S10T) とする。 ○ JIS S形高力ボルト セットの種類は2種 (F10T) とする。 (2) すべり係数試験: * 行わない ○ 行う	● 5. 1. デッキプレート 構造用デッキプレート 合成スラブ用デッキプレート 材質・形状・寸法: * 図面による	● 6. 1. 溶接部の試験 超音波探傷試験 * 適用する ○ 適用しない (7.6.11) * 4.0% ○ 2.5% (表7.6.2-4) * 第6水準 ○ 第7水準 (表7.6.2)	● 7. 1. 耐火被覆 種 別 * 耐火材吹付け ○ 耐火板張り ○ 耐火材巻付け ○ ラス張りモルタル塗り 所要性能: * 30分耐火 ○ 1時間耐火 (7.7.6)	● 8. 1. アンカーボルトの埋込 木工事 ● 9. 1. 柱底の均しモルタル 柱底別 ○ A種 * B種 ○ C種 (7.10.3)	● 10. 1. 施工管理技術者 * 使用する ○ 使用しない (7.1.4)	● 1. 2. 1. 床タイル張り 再生材利用タイルの使用 * 使用する ○ 使用しない (11.2.1) 形狀寸法 きじ うわぐすり 役物	● 2. 1. 鋼材の種類 鋼材の種類は次による。 該当 規格名 称 等 種類の記号	● 3. 2. 1. 高力ボルトの区分 (1) 種類 ● トルシア形高力ボルト セットの種類は2種 (S10T) とする。 ○ JIS S形高力ボルト セットの種類は2種 (F10T) とする。 (2) すべり係数試験: * 行わない ○ 行う	● 4. 2. 1. デッキプレート 構造用デッキプレート 合成スラブ用デッキプレート 材質・形状・寸法: * 図面による	● 5. 2. 1. 溶接部の試験 超音波探傷試験 * 適用する ○ 適用しない (7.6.11) * 4.0% ○ 2.5% (表7.6.2-4) * 第6水準 ○ 第7水準 (表7.6.2)	● 6. 2. 1. 耐火被覆 種 別 * 耐火材吹付け ○ 耐火板張り ○ 耐火材巻付け ○ ラス張りモルタル塗り 所要性能: * 30分耐火 ○ 1時間耐火 (7.7.6)	● 7. 2. 1. アンカーボルトの埋込 木工事 ● 8. 2. 1. 柱底の均しモルタル 柱底別 ○ A種 * B種 ○ C種 (7.10.3)	● 9. 2. 1. 施工管理技術者 * 使用する ○ 使用しない (7.1.4)	● 1. 3. 1. 床タイル張り 再生材利用タイルの使用 * 使用する ○ 使用しない (11.2.1) 形狀寸法 きじ うわぐすり 役物	● 2. 3. 1. 鋼材の種類 鋼材の種類は次による。 該当 規格名 称 等 種類の記号	● 3. 3. 1. 高力ボルトの区分 (1) 種類 ● トルシア形高力ボルト セットの種類は2種 (S10T) とする。 ○ JIS S形高力ボルト セットの種類は2種 (F10T) とする。 (2) すべり係数試験: * 行わない ○ 行う	● 4. 3. 1. デッキプレート 構造用デッキプレート 合成スラブ用デッキプレート 材質・形状・寸法: * 図面による	● 5. 3. 1. 溶接部の試験 超音波探傷試験 * 適用する ○ 適用しない (7.6.11) * 4.0% ○ 2.5% (表7.6.2-4) * 第6水準 ○ 第7水準 (表7.6.2)	● 6. 3. 1. 耐火被覆 種 別 * 耐火材吹付け ○ 耐火板張り ○ 耐火材巻付け ○ ラス張りモルタル塗り 所要性能: * 30分耐火 ○ 1時間耐火 (7.7.6)	● 7. 3. 1. アンカーボルトの埋込 木工事 ● 8. 3. 1. 柱底の均しモルタル 柱底別 ○ A種 * B種 ○ C種 (7.10.3)	● 9. 3. 1. 施工管理技術者 * 使用する ○ 使用しない (7.1.4)	● 1. 4. 1. 床タイル張り 再生材利用タイルの使用 * 使用する ○ 使用しない (11.2.1) 形狀寸法 きじ うわぐすり 役物	● 2. 4. 1. 鋼材の種類 鋼材の種類は次による。 該当 規格名 称 等 種類の記号	● 3. 4. 1. 高力ボルトの区分 (1) 種類 ● トルシア形高力ボルト セットの種類は2種 (S10T) とする。 ○ JIS S形高力ボルト セットの種類は2種 (F10T) とする。 (2) すべり係数試験: * 行わない ○ 行う	● 4. 4. 1. デッキプレート 構造用デッキプレート 合成スラブ用デッキプレート 材質・形状・寸法: * 図面による	● 5. 4. 1. 溶接部の試験 超音波探傷試験 * 適用する ○ 適用しない (7.6.11) * 4.0% ○ 2.5% (表7.6.2-4) * 第6水準 ○ 第7水準 (表7.6.2)	● 6. 4. 1. 耐火被覆 種 別 * 耐火材吹付け ○ 耐火板張り ○ 耐火材巻付け ○ ラス張りモルタル塗り 所要性能: * 30分耐火 ○ 1時間耐火 (7.7.6)	● 7. 4. 1. アンカーボルトの埋込 木工事 ● 8. 4. 1. 柱底の均しモルタル 柱底別 ○ A種 * B種 ○ C種 (7.10.3)	● 9. 4. 1. 施工管理技術者 * 使用する ○ 使用しない (7.1.4)	● 1. 5. 1. 床タイル張り 再生材利用タイルの使用 * 使用する ○ 使用しない (11.2.1) 形狀寸法 きじ うわぐすり 役物	● 2. 6. 1. 鋼材の種類 鋼材の種類は次による。 該当 規格名 称 等 種類の記号	● 3. 5. 1. 高力ボルトの区分 (1) 種類 ● トルシア形高力ボルト セットの種類は2種 (S10T) とする。 ○ JIS S形高力ボルト セットの種類は2種 (F10T) とする。 (2) すべり係数試験: * 行わない ○ 行う	● 4. 5. 1. デッキプレート 構造用デッキプレート 合成スラブ用デッキプレート 材質・形状・寸法: * 図面による	● 5. 5. 1. 溶接部の試験 超音波探傷試験 * 適用する ○ 適用しない (7.6.11) * 4.0% ○ 2.5% (表7.6.2-4) * 第6水準 ○ 第7水準 (表7.6.2)	● 6. 5. 1. 耐火被覆 種 別 * 耐火材吹付け ○ 耐火板張り ○ 耐火材巻付け ○ ラス張りモルタル塗り 所要性能: * 30分耐火 ○ 1時間耐火 (7.7.6)	● 7. 5. 1. アンカーボルトの埋込 木工事 ● 8. 5. 1. 柱底の均しモルタル 柱底別 ○ A種 * B種 ○ C種 (7.10.3)	● 9. 5. 1. 施工管理技術者 * 使用する ○ 使用しない (7.1.4)	● 1. 6. 1. 床タイル張り 再生材利用タイルの使用 * 使用する ○ 使用しない (11.2.1) 形狀寸法 きじ うわぐすり 役物	● 2. 7. 1. 鋼材の種類 鋼材の種類は次による。 該当 規格名 称 等 種類の記号	● 3. 6. 1. 高力ボルトの区分 (1) 種類 ● トルシア形高力ボルト セットの種類は2種 (S10T) とする。 ○ JIS S形高力ボルト セットの種類は2種 (F10T) とする。 (2) すべり係数試験: * 行わない ○ 行う	● 4. 6. 1. デッキプレート 構造用デッキプレート 合成スラブ用デッキプレート 材質・形状・寸法: * 図面による	● 5. 6. 1. 溶接部の試験 超音波探傷試験 * 適用する ○ 適用しない (7.6.11) * 4.0% ○ 2.5% (表7.6.2-4) * 第6水準 ○ 第7水準 (表7.6.2)	● 6. 6. 1. 耐火被覆 種 別 * 耐火材吹付け ○ 耐火板張り ○ 耐火材巻付け ○ ラス張りモルタル塗り 所要性能: * 30分耐火 ○ 1時間耐火 (7.7.6)	● 7. 6. 1. アンカーボルトの埋込 木工事 ● 8. 6. 1. 柱底の均しモルタル 柱底別 ○ A種 * B種 ○ C種 (7.10.3)	● 9. 6. 1. 施工管理技術者 * 使用する ○ 使用しない (7.1.4)	● 1. 7. 1. 床タイル張り 再生材利用タイルの使用 * 使用する ○ 使用しない (11.2.1) 形狀寸法 きじ うわぐすり 役物	● 2. 8. 1. 鋼材の種類 鋼材の種類は次による。 該当 規格名 称 等 種類の記号	● 3. 7. 1. 高力ボルトの区分 (1) 種類 ● トルシア形高力ボルト セットの種類は2種 (S10T) とする。 ○ JIS S形高力ボルト セットの種類は2種 (F10T) とする。 (2) すべり係数試験: * 行わない ○ 行う	● 4. 7. 1. デッキプレート 構造用デッキプレート 合成スラブ用デッキプレート 材質・形状・寸法: * 図面による	● 5. 7. 1. 溶接部の試験 超音波探傷試験 * 適用する ○ 適用しない (7.6.11) * 4.0% ○ 2.5% (表7.6.2-4) * 第6水準 ○ 第7水準 (表7.6.2)	● 6. 7. 1. 耐火被覆 種 別 * 耐火材吹付け ○ 耐火板張り ○ 耐火材巻付け ○ ラス張りモルタル塗り 所要性能: * 30分耐火 ○ 1時間耐火 (7.7.6)	● 7. 7. 1. アンカーボルトの埋込 木工事 ● 8. 7. 1. 柱底の均しモルタル 柱底別 ○ A種 * B種 ○ C種 (7.10.3)	● 9. 7. 1. 施工管理技術者 * 使用する ○ 使用しない (7.1.4)	● 1. 8. 1. 床タイル張り 再生材利用タイルの使用 * 使用する ○ 使用しない (11.2.1) 形狀寸法 きじ うわぐすり 役物	● 2. 9. 1. 鋼材の種類 鋼材の種類は次による。 該当 規格名 称 等 種類の記号	● 3. 8. 1. 高力ボルトの区分 (1) 種類 ● トルシア形高力ボルト セットの種類は2種 (S10T) とする。 ○ JIS S形高力ボルト セットの種類は2種 (F10T) とする。 (2) すべり係数試験: * 行わない ○ 行う	● 4. 8. 1. デッキプレート 構造用デッキプレート 合成スラブ用デッキプレート 材質・形状・寸法: * 図面による	● 5. 8. 1. 溶接部の試験 超音波探傷試験 * 適用する ○ 適用しない (7.6.11)

章 項 目		特 記 事 項		章 項 目		特 記 事 項		章 項 目		特 記 事 項		章 項 目		特 記 事 項																																
建 具 工 事	► 1. 一般事項	(1) 建具見本の製作： * 行わない ○ 行う (建具表により指定する。) (2) 特殊な建具の取扱： * 行わない ○ 行う (建具表により指定する。) (3) 防犯建物部品： * 適用する ○ 適用しない		1. 木部塗装 (表18.2.1) (表18.4.1) (表18.5.1) (表18.8.2) (表18.11.1) (表18.12.1) (表18.13.1) 該当 塗装の種類 ○ 合成樹脂調合ペインツ塗り(SOP) * 屋外A種 屋内B種 ○ 屋外A種 屋内B種 ○ クリヤーラッカ一塗り(CL) ○ やわらか成樹脂エマルションペインツ塗り(EP-6) ○ オイルスチーン塗り(OS) ○ ウレタン樹脂ワニス塗り(UO) ○ 水性スティーン塗り(WSV) ○ 水性反応硬化形ウレタン塗り(WUP) ○ 水性反応硬化形ウレタンクリア塗り(WUC) ○ 木材保護塗装(WP) ○ 2. 鉄部塗装 (1) 鉄鋼面 (表18.2.2) (表18.3.1, 3) (表18.4.2) (表18.7.1) (表18.8.3) 該当 塗装の種類 ○ 合成樹脂調合ペインツ塗り(SOP) * 屋外A種 * B種 * A種 * 挂りA種隠れB種 ○ 挂りA種隠れB種 ○ 挂りA種隠れA種 ○ 耐候性塗料塗り(DP) * A種 * 挂りA種隠れB種 * B種 ○ やわらか成樹脂エマルションペインツ塗り(EP-6)屋内 ○ A種 * B種 * B種 * 挂りA種隠れB種 * 挂りA種隠れA種 ○ 2液形シリカ シリカ塗(2-UE)屋外 - - * B種 ○ クリヤーラッカ樹脂 シリカ塗(2-ASE)屋外 - - * B種 ○ 常温乾燥形ふっ素 樹脂かけ塗(2-FUE)屋外 - - * B種 ● 鋼止め塗料塗り JIS K 5674 1種 A種 工場1回塗り 現場1回塗り C種 ※ 素地ごしらえ A種及びB種は製作工場で行うものとする。		► 3. 特殊機能床材 (1) 帯電防止床シート、床タイル 施工部位 種類 類型 性能 厚さ (mm) 帯電防止床シート 体積抵抗値()Ω以下 帯電防止床タイル (2) 誘導用、注意喚起用床材 (JIS T9251) 区分 施工部位 種類 寸法 (mm) 屋外 ○ 塩化ビニル系 ○ シンコンクリート系 ○ 塩化ビニル系 ○ 塩化ビニル系 ※ 色は周囲の床材と識別しやすいものとする。		► 4. カーペット敷き (19.3.3) (表19.3.1~2) 該当 種類 種別 バイルの形状 バイル長 工法 ○ 織じゅうたん ○ A種 * B種 * C種 * ループ ○ カット ○ タテットカーペット - * ループ ○ カット ○ タイカルカーペット * A種 B種 * ループ 厚さ (mm) * ループ ○ カット ○ ニードルパンチカーペット * フルベット * 全面接着 * 全面接着 ► 5. 合成樹脂塗床 (1) 弾性ウレタン塗床 (19.4.3) (表19.4.1) (表19.4.3) 施工部位 区分 仕上げの種類 厚さ * 水系 ○ 無溶剤系 ○ 溶剤系 * 平滑 ○ 防滑 ○ つや消 * 水系 ○ 無溶剤系 ○ 溶剤系 * 平滑 ○ 防滑 ○ つや消 (2) エポキシ樹脂塗床 (19.4.3) (表19.4.4~7) 施工部位 区分 仕上げの種類 厚さ * 水系 ○ 無溶剤系 ○ 溶剤系 * 平滑 ○ 防滑 * 水系 ○ 無溶剤系 ○ 溶剤系 * 平滑 ○ 防滑 ► 6. フローリング張り (1) 単層フローリング (19.5.2, 19.5.4~19.5.7) (表19.5.1, 表19.5.3) 品名 表面材の材種 厚さ 工法 仕上げ塗装 * なら * 1.5 ○ モルタル埋込 ○ ボード ○ 鉛留め ○ 接着 ○ フローリング ブロック * なら * 1.5 ○ モルタル埋込 ○ 鉛留め ○ 接着 ○ モザイクパーケット * なら (2) 混合フローリング 品名 表面材の材種 厚さ 工法 仕上げ塗装 ○ 天然木化粧複合 ○ フローリング * さくら ○ A種 ○ モルタル埋込 ○ ひのき、まつ ○ B種 ○ 鉛留め * C種 ○ 接着 ※ 厚さは図面による。 (3) 特殊フローリング 品名 表面材の材種 仕上げ塗装 ○ 屋内体育館アリーナ床 (JIS A 6519) * なら ○ 柔剣道場の床 (JIS A 6519) * なら ※ 塗装の凡例 素地：素地のまま W：生地のまま、ワックス塗り。 OSW：オイルスチーンレスワックス塗り(オイルスチーン2回、ワックス1回) UCB：ウレタン樹脂ワニス塗り(2回塗り) WUC：水性反応硬化形ウレタン(クリア) WUP：水性反応硬化形ウレタン4回塗り		► 7. 罩敷き (1) 普通畳の種類： ○ A種 ○ B種 ○ C種 * D種 D種の場合の畠表 ○ KTT-I種 ○ KTT-II * KTT-III 原材料は特記仕様書19.6「維織板の原材料」による。 (2) 柔道畠 畠表は、JIS A 5901(畠表)の2級品とし、畠表は、柔道用レザーベル(裏地ビニロン)用)とする。		► 8. せっこうボード及び他のボード張り (19.7.2) (表19.7.1) 該当 規格番号 規格名称 種類の記号 ● JIS A5404 木質系セメント板 HW () HF, NF ● JIS A5430 織維強化セメント板 C-SFR 1.0FK ● JIS A5905 織維板 HB, MDF, IB ● JIS A5908 バーティカルボード RS, VS, DV, DO, DC ● JIS A6301 吸音材料 RW-F, RW-B, RW-BL, GW-B, DR, IB, WWC, GB-P, HB-P ● JIS A6901 せっこうボード製品 GB-R, GB-S, GB-F, GB-L, GB-D, GB-NC ※ 各ボード類の厚さは、図面による。 (2) せっこうボードの目地工法： * 突け工法 ○ 継ぎ目処理工法 ○ 目口かし工法 (19.7.2)		► 9. 合板張り (1) 普通合板は、「普通合板の日本農林規格」の規格品で、表面の品質は1・2等込みとし、難燃合板及び特殊合板は、それぞれ「難燃合板の日本農林規格」及び「特殊合板の日本農林規格」の規格品とする。 (2) 19.7.2 (c) (1) にかかわらず、防火材料の認定品の使用は指定のあったときとする。 (3) 合板類の張りの種類 (表19.7.3) 施工部位 合板の種類 張付の工法 ○ 普通合板 ○ 天然木化粧合板 ○ 特殊加工合板 ○ A種 * B種 ○ 普通合板 ○ 天然木化粧合板 ○ 特殊加工合板 ○ A種 * B種 ► 10. 壁紙張り (1) 共通事項：ノンフロン仕様とする。 (2) ポリスチレンフォーム保温材及び硬質ウレタンフォーム保温材 施工部位 施工部位 壁紙の種類 壁紙の種類 * 押出法ポリスチレンフォーム保温材 (XPS) * B種3種 (表裏付き) 基 横 土 間 下 * 押出法ポリスチレンフォーム保温材 (XPS) * 2種b ○ ビーズ法ポリスチレンフォーム保温材 (EPS) ○ 硬質ウレタンフォーム保温材 (PUF) ○ フェノールフォーム保温材 (PF) ※ 施工部位及び部位毎の厚さについては図面による。図面特記がない場合の各部位の厚さは、押出法ポリスチレンフォーム保温材2種b又はビーズ法ポリスチレンフォーム保温材特号で下表の数値以上とし、他のものは、これと同等以上の断熱効果(熱伝導率0.034以下)を有する厚さとする。		► 11. 断熱材 (1) 1. 性能値 (17.1.2) ○ 前風圧性 ○ S-4 ○ S-5 ○ S-6 ○ 耐火性 (時間) ○ 防震性 水平方向 鉛直方向 ○ 水密性 ○ W-4 ○ W-5 ○ 遮音性 ○ T-1 ○ T-2 ○ T-3 ○ T-4 ○ 気密性 ○ A-3 ○ A-4 ○ 断熱性 (mm°C/kcal) ○ 3.5 ○ 4.0 (2) シーリング材、構造ガスケット、断熱材は図面による。 ► 1. バニル床シート張り (1) 金属材料の種類： ○ アルミニウム製 ○ 鋼製 ○ ステンレス製 (17.2.2) (2) シーリング材、構造ガスケット、断熱材は図面による。 ► 2. バニル床タイル張り (1) 金属材料の種類： ○ アルミニウム製 ○ 鋼製 ○ ステンレス製 (17.2.2) (2) 製品の見え抜か部分の仕上げは、図面による。		► 12. 内装工事 (1) ガラスによる種類 ○ 一般重量シャッター ○ 外壁用防火シャッター ○ 室内用防火シャッター ○ 防爆シャッター (2) シャッターケース(防火、防爆以外のもの) ○ 設ける ○ 設けない (3) 開閉機能による種類 ○ 上部電動式(手動併用) ○ 上部手動式 (4) 注意喚起装置 ○ 音声発生装置 ○ 注意灯の設置 ○ シャッターケースへの危険表示 ○ シャッターケースの下位位置の表示 (5) 吹雪止め 吹き込み防止用サイドシール(3方)を設ける (1) 開閉形式による種類： * 手動式 ○ 上部電動式(手動併用) (2) サラットの材質： ○ JIS G 3312 ○ JIS G 3318 (3) サラットの形状： * インターロッキング形 ○ オーバーラッピング形 (4) 表面塗： * 標準色 ○ 指定色(焼付塗装) 性能 表16.9.1による。		► 13. オーバーヘッドアーム (1) 機能による種類 ○ 一般重量シャッター ○ 外壁用防火シャッター ○ 室内用防火シャッター ○ 防爆シャッター (2) シャッターケース(防火、防爆以外のもの) ○ 設ける ○ 設けない (3) 開閉機能による種類 ○ 上部電動式(手動併用) ○ 上部手動式 (4) 注意喚起装置 ○ 音声発生装置 ○ 注意灯の設置 ○ シャッターケースへの危険表示 ○ シャッターケースの下位位置の表示 (5) 吹雪止め 吹き込み防止用サイドシール(3方)を設ける (1) 開閉形式による種類： * 手動式 ○ 上部電動式(手動併用) (2) サラットの材質： ○ JIS G 3312 ○ JIS G 3318 (3) サラットの形状： * インターロッキング形 ○ オーバーラッピング形 (4) 表面塗： * 標準色 ○ 指定色(焼付塗装)		► 14. ガラス (1) 標準仕様書の規定による品質・規格を満たす材料とする。 (16.13.2) (2) ガラスの種類及び厚さは建具表による。 (3) ガラス留め材 (16.13.2) 該当 建具の種類 材種 ○ アルミニウム製 * シーリング材(一部防火認定材) ○ ガスケット ● 鋼製 * シーリング材(一部防火認定材) ○ ステンレス製 * シーリング材 ○ 鋼製建具 * シーリング材 ○ 木製建具 * 神縫 ○ プラスチック建具 * ガスケット ► 15. ガラスブロック積み (1) 表面形状：図面による 呼び寸法：図面による 厚さ：図面による (16.13.5) (2) 壁用金属、補強材：図面による (3) 金属製化粧パバーパー、材質、寸法、形状：図面による (4) 化粧目地モルタル 色：		► 16. カーテンウォールの性能 (1) 性能値 (17.1.2) ○ 前風圧性 ○ S-4 ○ S-5 ○ S-6 ○ 耐火性 (時間) ○ 防震性 水平方向 鉛直方向 ○ 水密性 ○ W-4 ○ W-5 ○ 遮音性 ○ T-1 ○ T-2 ○ T-3 ○ T-4 ○ 気密性 ○ A-3 ○ A-4 ○ 断熱性 (mm°C/kcal) ○ 3.5 ○ 4.0 (2) シーリング材、構造ガスケット、断熱材は図面による。 ► 17. 内装工事 (1) シーリング材、耐火目地材、断熱材、サッシ枠等は、図面による。		► 18. 塗装 (1) 簡易気密型ドアセッテッド： ○ 適用する ○ 適用しない (16.3.3) (16.4.4) (2) 耐風圧性(外部) ○ S-4 ○ S-5 ○ S-6 (表16.3.1) (16.3.2) (3) 鋼板類のめっき付着量： * Z 1.2 又は F 1.2 (表16.3.1) (16.3.2) (4) 鋼板の厚さ： * 表16.3.2による ○ 図面による (1) 簡易気密型ドアセッテッド： ○ 適用する ○ 適用しない (16.3.3) (16.4.4) (2) 耐風圧性(外部) ○ S-4 ○ S-5 ○ S-6 (表16.3.1) (16.3.2) (3) 鋼板類のめっき付着量： * Z 1.2 又は F 1.2 (表16.3.1) (16.3.2) (4) 鋼板の厚さ： * 表16.3.2による ○ 図面による ► 19. 内装工事 (1) 簡易気密型ドアセッテッド： ○ 適用する ○ 適用しない (16.3.3) (16.4.4) (2) 耐風圧性(外部) ○ S-4 ○ S-5 ○ S-6 (表16.3.1) (16.3.2) (3) 鋼板類のめっき付着量： * Z 1.2 又は F 1.2 (表16.3.1) (16.3.2) (4) 鋼板の厚さ： * 表16.3.2による ○ 図面による ► 20. 塗装 (1) 簡易気密型ドアセッテッド： ○ 適用する ○ 適用しない (16.3.3) (16.4.4) (2) 耐風圧性(外部) ○ S-4 ○ S-5 ○ S-6 (表16.3.1) (16.3.2) (3) 鋼板類のめっき付着量： * Z 1.2 又は F 1.2 (表16.3.1) (16.3.2) (4) 鋼板の厚さ： * 表16.3.2による ○ 図面による ► 21. 断熱材 (1) 表面形状：図面による 呼び寸法：図面による 厚さ：図面による (16.13.5) (2) 壁用金属、補強材：図面による (3) 金属製化粧パバーパー、材質、寸法、形状：図面による (4) 化粧目地モルタル 色：		► 22. 断熱材 (1) 表面形状：図面による 呼び寸法：図面による 厚さ：図面による (16.13.5) (2) 壁用金属、補強材：図面による (3) 金属製化粧パバーパー、材質、寸法、形状：図面による (4) 化粧目地モルタル 色：		► 23. 断熱材 (1) 表面形状：図面による 呼び寸法：図面による 厚さ：図面による (16.13.5) (2) 壁用金属、補強材：図面による (3) 金属製化粧パバーパー、材質、寸法、形状：図面による (4) 化粧目地モルタル 色：		► 24. 断熱材 (1) 表面形状：図面による 呼び寸法：図面による 厚さ：図面による (16.13.5) (2) 壁用金属、補強材：図面による (3) 金属製化粧パバーパー、材質、寸法、形状：図面による (4) 化粧目地モルタル 色：		► 25. 断熱材 (1) 表面形状：図面による 呼び寸法：図面による 厚さ：図面による (16.13.5) (2) 壁用金属、補強材：図面による (3) 金属製化粧パバーパー、材質、寸法、形状：図面による (4) 化粧目地モルタル 色：		► 26. 断熱材 (1) 表面形状：図面による 呼び寸法：図面による 厚さ：図面による (16.13.5) (2) 壁用金属、補強材：図面による (3) 金属製化粧パバーパー、材質、寸法、形状：図面による (4) 化粧目地モルタル 色：		► 27. 断熱材 (1) 表面形状：図面による 呼び寸法：図面による 厚さ：図面による (16.13.5) (2) 壁用金属、補強材：図面による (3) 金属製化粧パバーパー、材質、寸法、形状：図面による (4) 化粧目地モルタル 色：		► 28. 断熱材 (1) 表面形状：図面による 呼び寸法：図面による 厚さ：図面による (16.13.5) (2) 壁用金属、補強材：図面による (3) 金属製化粧パバーパー、材質、寸法、形状：図面による (4) 化粧目地モルタル 色：		► 29. 断熱材 (1) 表面形状：図面による 呼び寸法：図面による 厚さ：図面による (16.13.5) (2) 壁用金属、補強材：図面による (3) 金属製化粧パバーパー、材質、寸法、形状：図面による (4) 化粧目地モルタル 色：		► 30. 断熱材 (1) 表面形状：図面による 呼び寸法：図面による 厚さ：図面による (16.13.5) (2) 壁用金属、補強材：図面による (3) 金属製化粧パバーパー、材質、寸法、形状：図面による (4) 化粧目地モルタル 色：		► 31. 断熱材 (1) 表面形状：図面による 呼び寸法：図面による 厚さ：図面による (16.13.5) (2) 壁用金属、補強材：図面による (3) 金属製化粧パバ





■ 既存建物①	
建物用途	体育館
建築面積	3,311.205 m ²
1階床面積	3,041.480 m ²
2階床面積	1,225.477 m ²
延べ床面積	4,266.957 m ²
階 数	地下0階・地上2階
構 造	R.C造（一部鉄骨造）
建物高さ	21.7m

■ 既存建物②	
建物用途	勤労青少年ホーム（児童福祉施設）
建築面積	636.94 m ²
1階床面積	624.04 m ²
2階床面積	264.42 m ²
延べ床面積	624.04 m ²
階 数	地下0階・地上1階
構 造	R.C造（一部鉄骨造）
建物高さ	

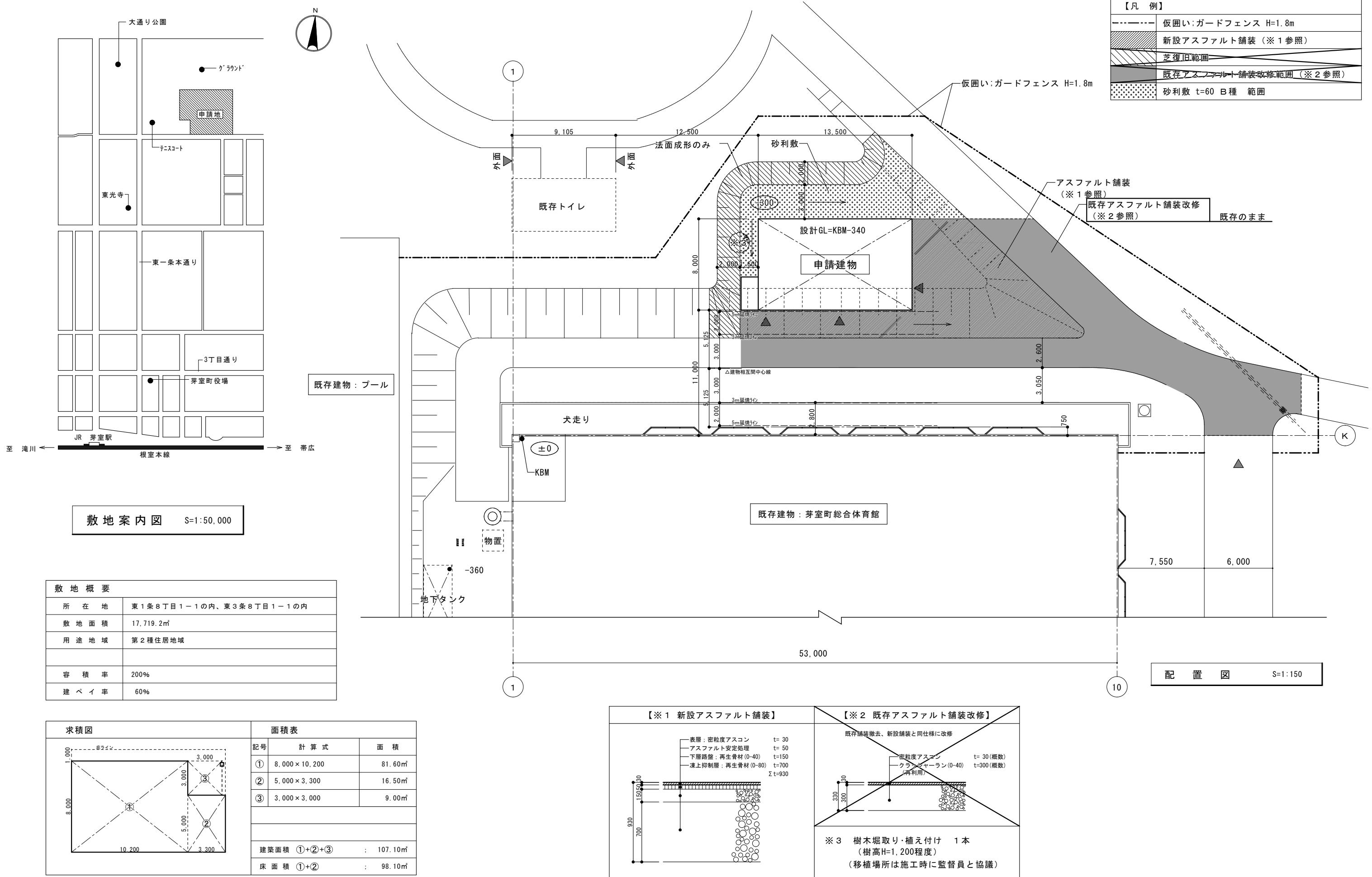
■ 既存建物③	
建物用途	温水プール
建築面積	2,623.92 m ²
1階床面積	2,500.28 m ²
2階床面積	123.64 m ²
延べ床面積	2,981.25 m ²
階 数	地下0階・地上1階
構 造	R.C造（一部鉄骨造）
建物高さ	

■ 既存建物④	
建物用途	渡り廊下
建築面積	34.466 m ²
1階床面積	34.466 m ²
延べ床面積	34.466 m ²
階 数	地下0階・地上1階
構 造	R.C造（一部鉄骨造）
建物高さ	3.375m

■ 既存建物⑤	
建物用途	公衆トイレ
建築面積	37.72 m ²
1階床面積	37.72 m ²
延べ床面積	37.72 m ²
階 数	地下0階・地上1階
構 造	木造
建物高さ	3.34m

全体配置図 S=1:400





仕上表

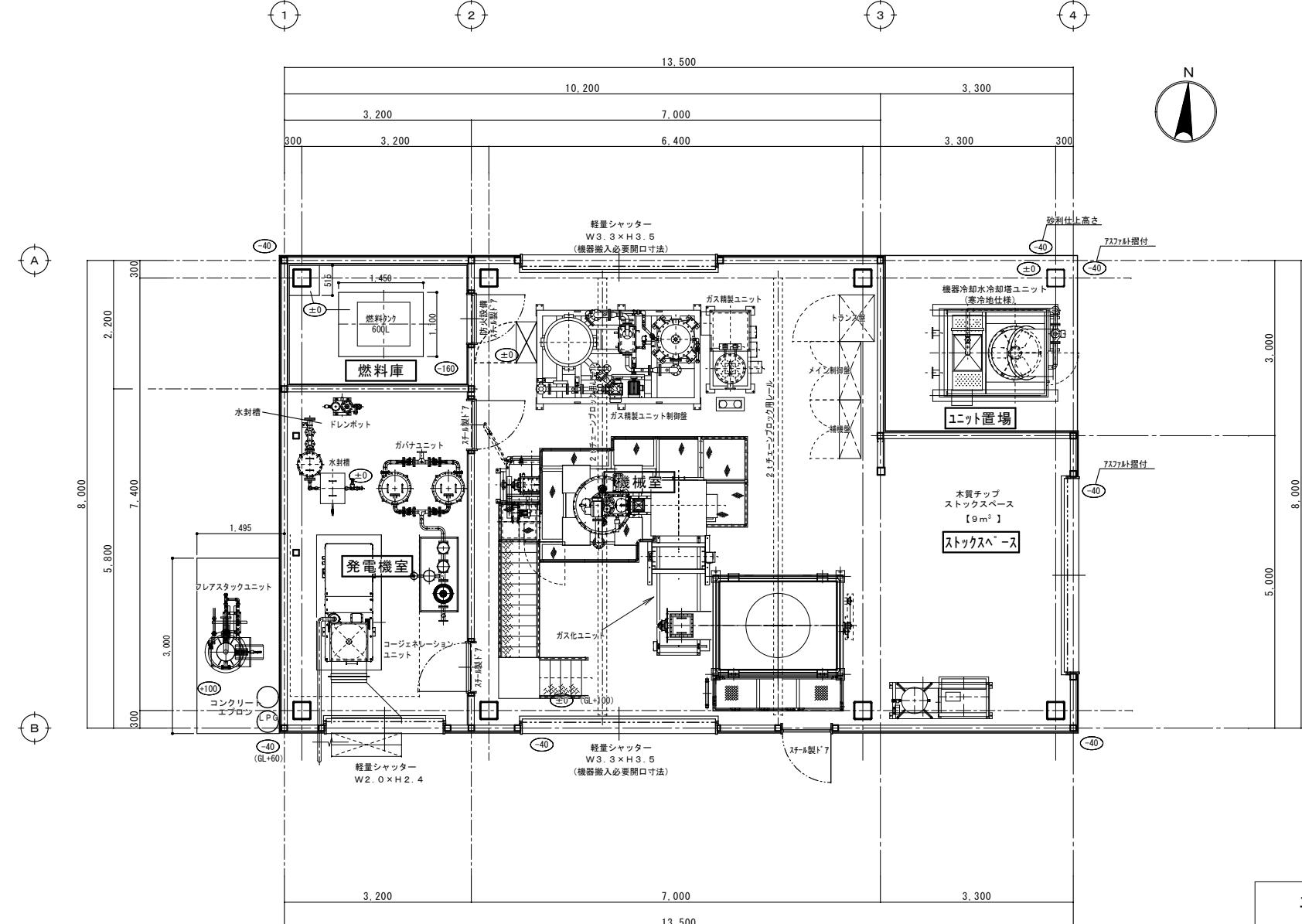
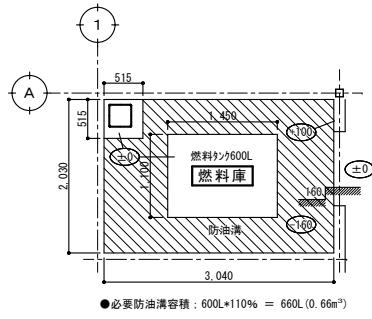
外部仕上表

部位	基礎廻り	外壁	屋根	軒天	ユニット置場	断熱材	備考
仕上	コンクリート打放し 補修 増コン \odot 20mm クラック誘発目地	角波カラーガルバリウム鋼板 \odot 0.27mm (大臣認定 不燃材料NM-8697) 木毛セメント板 \odot 20mm下地	ガルバリウム鋼板 \odot 0.8mm 折板葺き:丸駒II型 (裏貼断熱材:発泡ポリスチレンフォーム \odot 4.0mm) (大臣認定 不燃材料NM-0758)	ケイカル板 \odot 6.0mm E.P. ②~③通り間:有孔板 軽天下地	コンクリート金コテ押工 機械基礎(200×2,140 H=330 2基)	基礎廻り:発泡ポリスチレンフォーム \odot 30mm打込 土間下:発泡ポリスチレンフォーム \odot 30mm敷込 外壁:木毛セメント板 \odot 20mm	軒下砂利: \odot 60mm B種 アスファルト舗装 鉄部:錆止め塗装(工場1回、現場1回オールオーバー)

内部仕上表

室名	床	下地	腰壁	壁	下地	天井	下地	備考
1階	機械室	コンクリート金コテ カッター目地	コンクリート	コンクリート打放し、増コン \odot 10mm	鉄骨表し	鉄骨	ポリスチレンフォーム表し	コンクリート 機械基礎 シャッタード:ステンレスアングル L-50*50*4 打込み
	燃料庫	コンクリート金コテ	コンクリート	コンクリート打放し、増コン \odot 10mm	ケイカル板 \odot 6.0mm 突付張り 素地 機械室・発電機室面:木毛セメント板 \odot 20mm	LGS	ケイカル板 \odot 6.0mm 突付張り 素地	コンクリート 防油溝 H=150(溝内にケイ酸質塗布防水) タンク基礎
	発電機室	コンクリート金コテ	コンクリート	コンクリート打放し、増コン \odot 10mm	鉄骨表し 機械室面:木毛セメント板 \odot 20mm	鉄骨	ポリスチレンフォーム表し	機械基礎、外部機械基礎 シャッタード:ステンレスアングル L-50*50*4 打込み スチールガラリ 2ヶ処 (KS-5311M)
	ストックスペース	コンクリート金コテ	コンクリート	コンクリート打放し、増コン \odot 10mm	鉄骨表し 機械室面:木毛セメント板 \odot 20mm	鉄骨	ポリスチレンフォーム表し	シャッタード:ステンレスアングル L-50*50*4 打込み

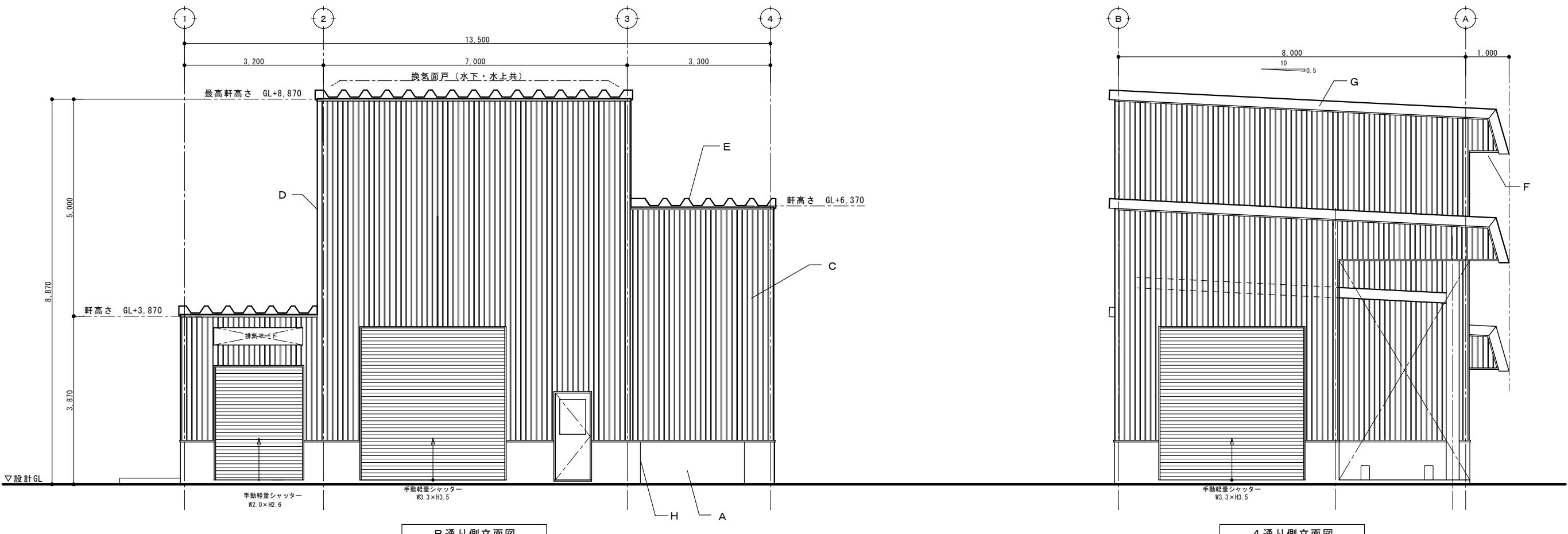
※内部間仕切壁下地は全て鉄骨脚縁(0-100×50×20×2.3)とする。



平面図 S=1:50

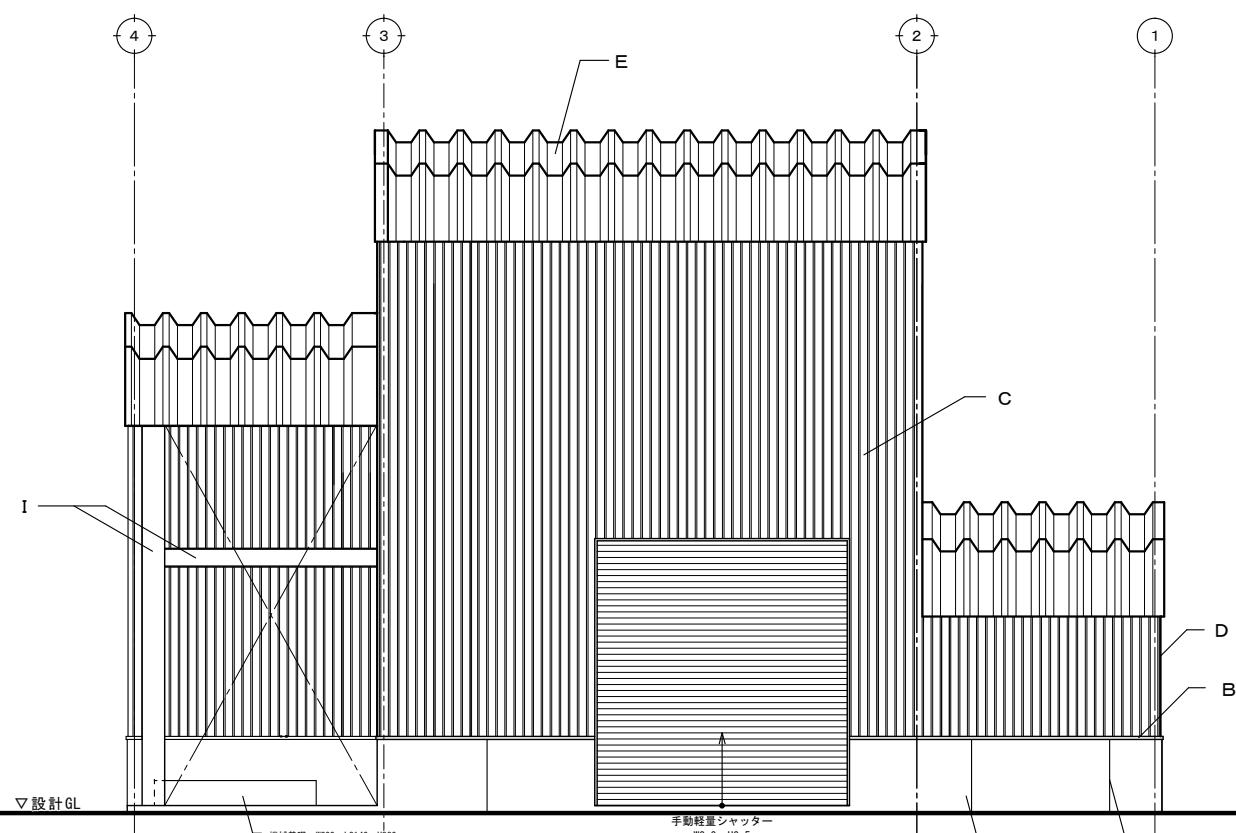
地盤面算定表			設計GL = KBL-340
番号	高低差 m	見付け面積	
A	± 0	S1 A~Bの長さ × (Aの高さ+Bの高さ) / 2 16.5 × (0 + 0) / 2 = 0 m ²	
B	± 0	S2 B~Cの長さ × (Bの高さ+Cの高さ) / 2 8.0 × (0 + 0) / 2 = 0 m ²	
C	± 0	S3 C~Dの長さ × (Cの高さ+Dの高さ) / 2 16.5 × (0 + 0) / 2 = 0 m ²	
D	± 0	S4 D~Aの長さ × (Dの高さ+Aの高さ) / 2 8.0 × (0 + 0) / 2 = 0 m ²	
算定式		$S1 + S2 + S3 + S4 / 2$	
(0 + 0 + 0 + 0) / 49.0 = $\pm 0 m$			
平均地盤面		= 設計GL+6.0	

床面積 113.1m²

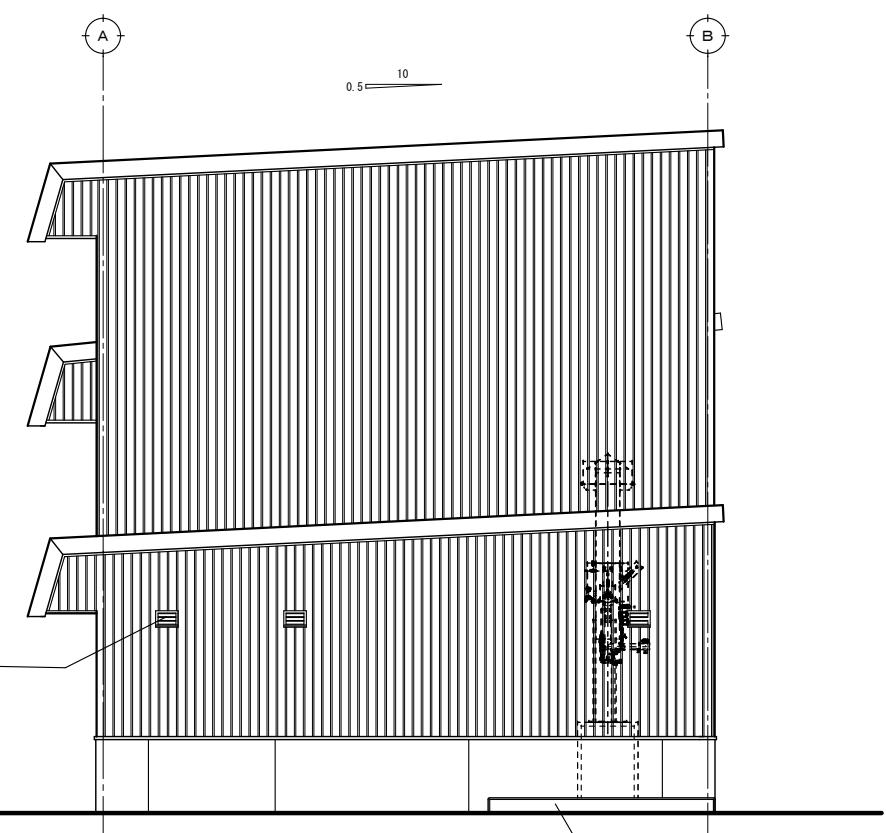


B通り側立面図

4通り側立面図



A通り側立面図



1通り側立面図

外部仕上表

A 基礎廻り	コンクリート打放し 増しコン $t=20$	D 出隅、見切り	ガルバリウムカラー鋼板 $t=0.4$	G ケラバ包み	ガルバリウムカラー鋼板 $t=0.8$		
B 水切	ガルバリウムカラー鋼板 $t=0.4$	E 屋根	ガルバリウムカラー折板 $t=0.8$ ベフ $t=4.0$ 裏打ち 不燃材料NM-0758	H 目地	クラック誘発目地 シーリング処理		
C 外壁	角波かーかーりゅう鋼板 $t=0.27$	F 軒天	ケイカル板 $t=6.0mm$ E.P. 一部有孔板	I 外部鉄部面	SOP塗装仕上げ		

ふれあいTOWN 芽室町役場

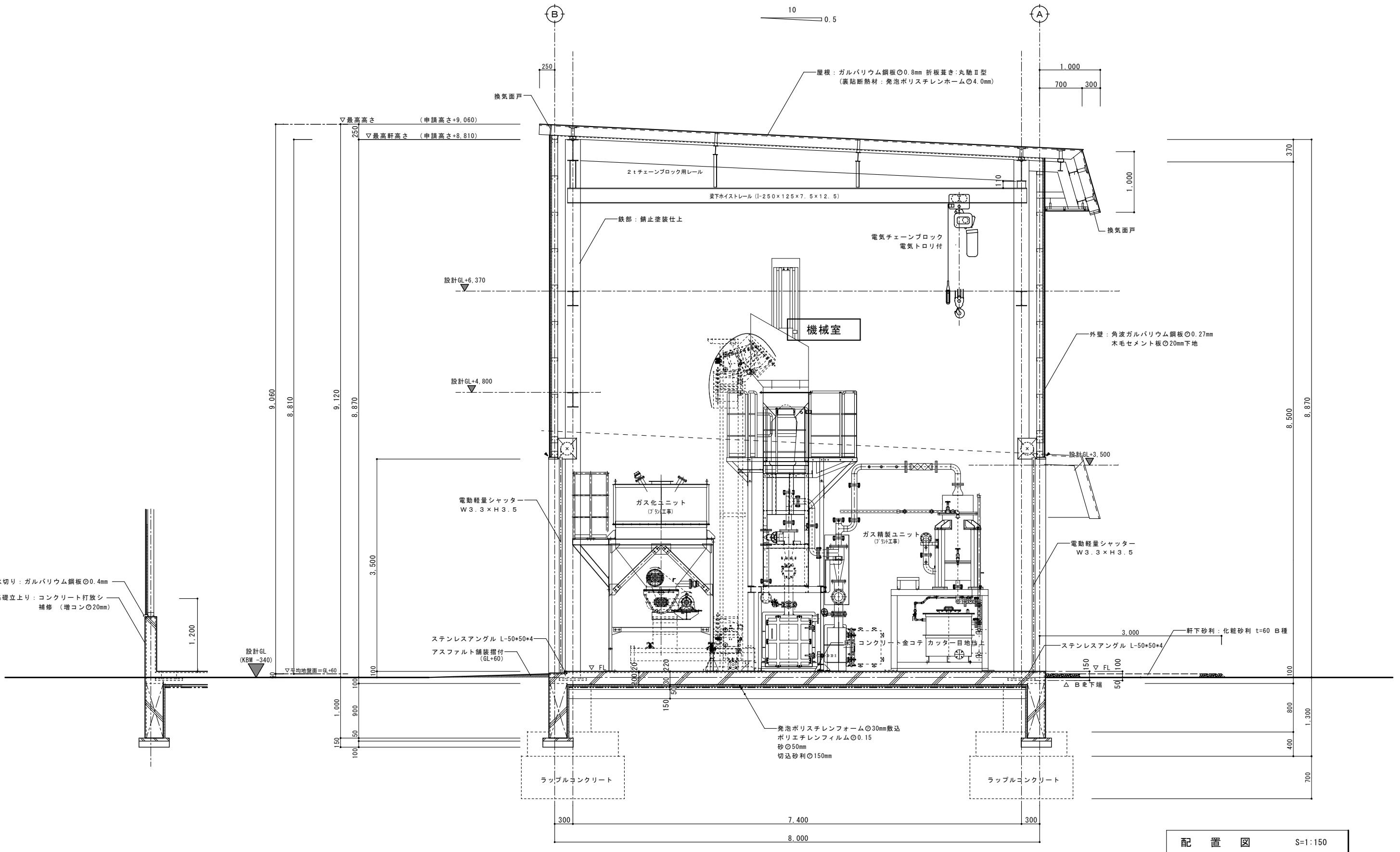
記事 _____

建設都市整備課 建築係
芽室町東2条2丁目14番地
TEL 0155-62-9726
FAX 0155-62-7086

工事名 芽室町総合体育館パワマス発電設備工事(建築主体)
図名 立面図

担当 総数
図面番号 A - 09

A 1 : 1/50
A 3 : 1/100



配置図 S=1:150

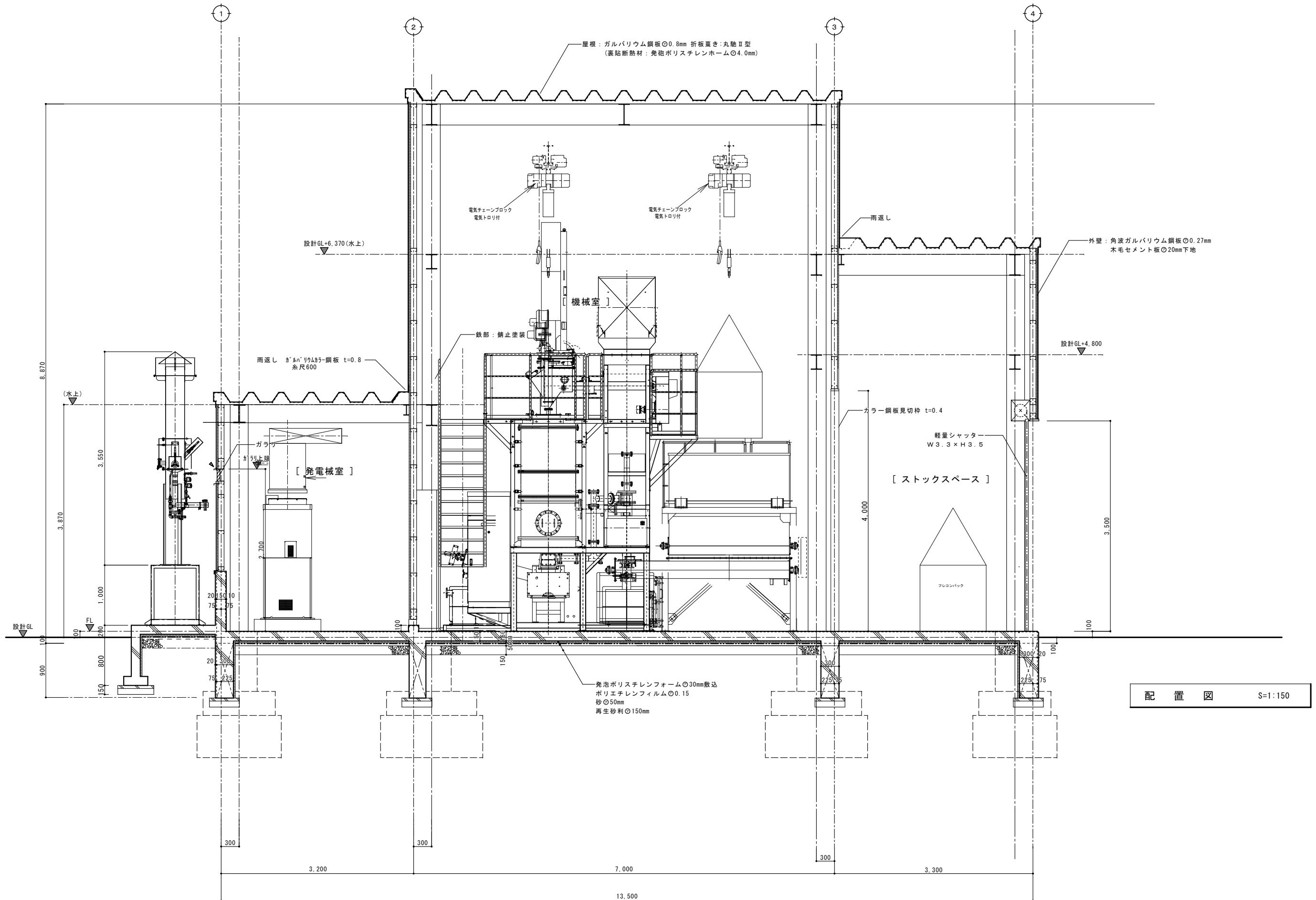
担当	総数
図面番号 A - 10	
A 1 : 1/30	
A 3 : 1/60	

記事 _____

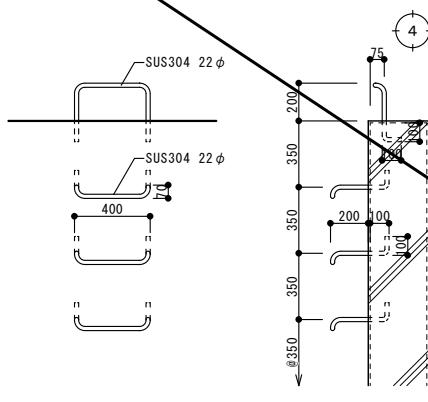
建設都市整備課 建築係
芽室町東2条2丁目14番地
TEL 0155-62-9726
FAX 0155-62-7036

工事名 芽室町総合体育館パワースタンド発電設備工事 (建築主体)

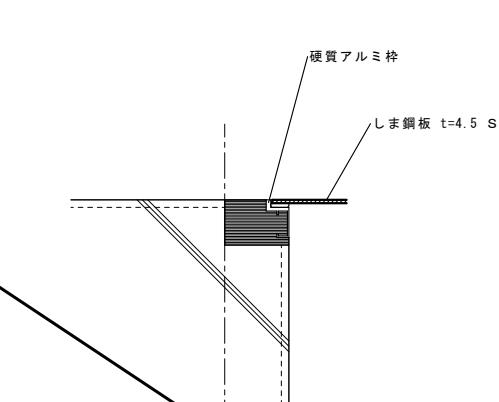
図名 矩計図 (1)



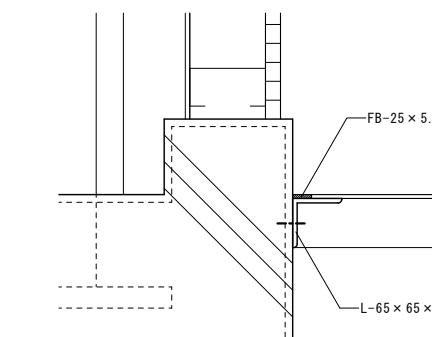
点検用タラップ詳細図 S=1/20



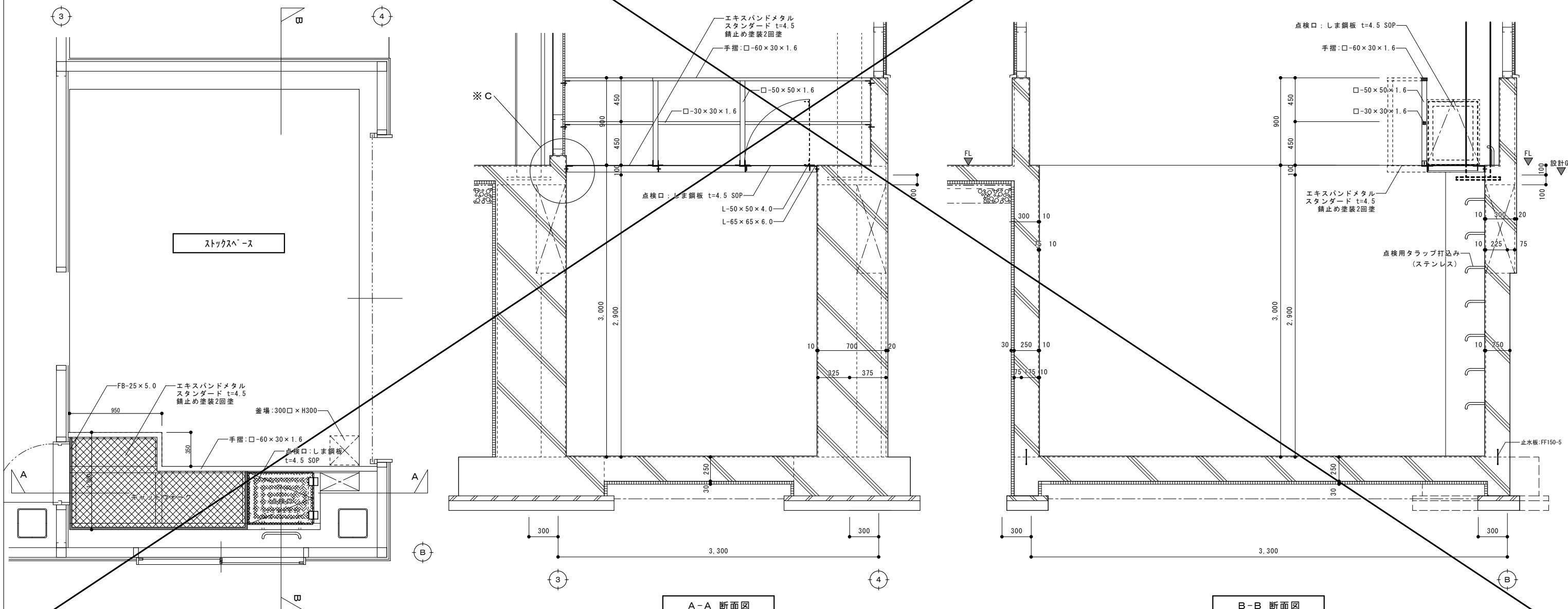
配管ピット しま鋼板詳細図 S=1

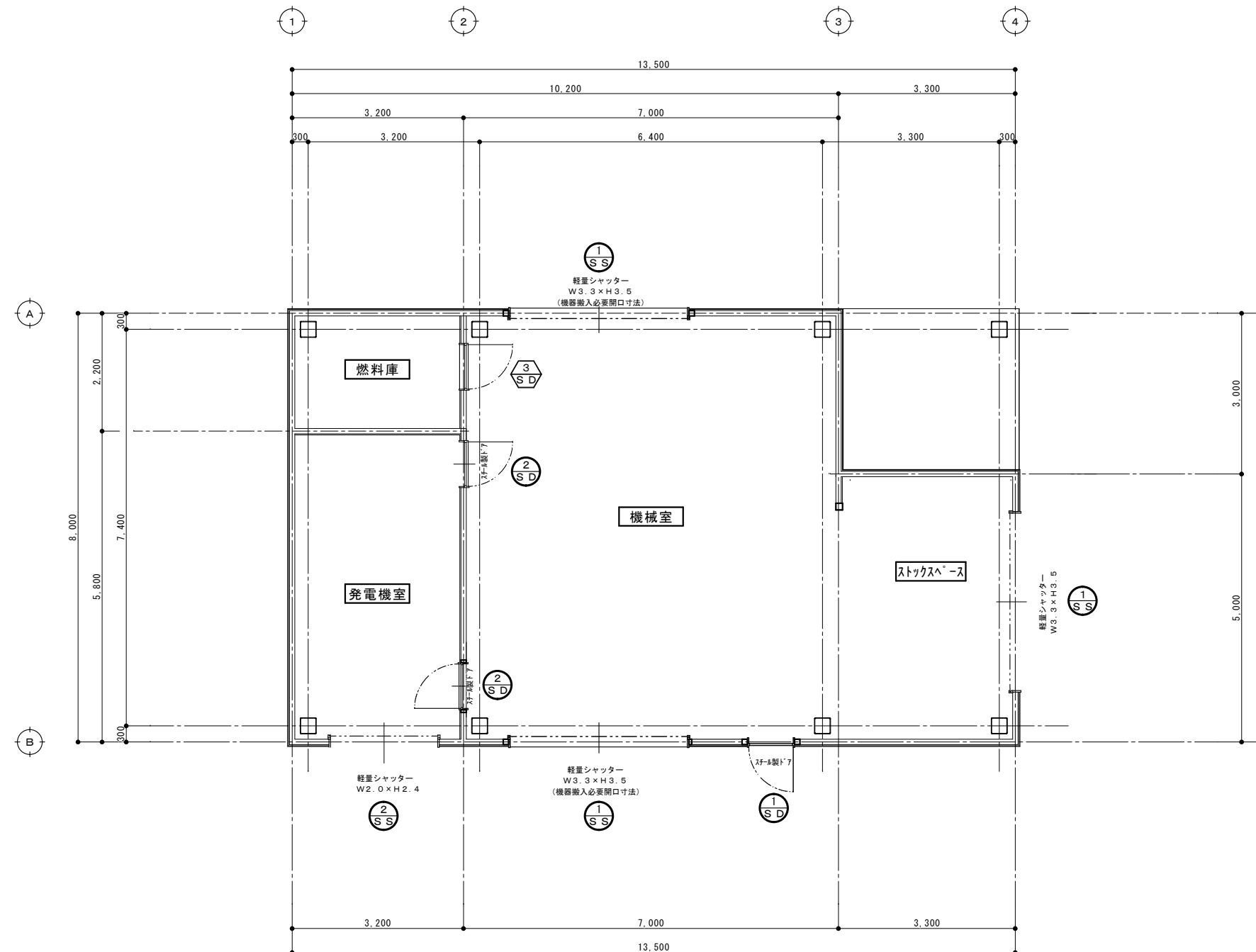


キャットウォーク※C部 詳細図



キャットウォーク詳細図 S=1/20





構造設計標準仕様

適用は印を記入する。

1. 建築物の構造内容

(1) 工事名称	茅室町総合体育館パワマス発電設備工事（建築主体）		
建築場所	茅室町東1条8丁目1-1の内、東3条8丁目1-1の内		
(2) 工事種別	<input checked="" type="checkbox"/> 新築 <input type="checkbox"/> 増築 <input type="checkbox"/> 増改築 <input type="checkbox"/> 改築		
(3) 構造種別	<input type="checkbox"/> 木造(W) <input type="checkbox"/> 補強コンクリートブロック造(CB) <input checked="" type="checkbox"/> 鉄骨造(S) <input type="checkbox"/> 鉄筋コンクリート造(RC) <input type="checkbox"/> 壁式鉄筋コンクリート造(WRC) <input type="checkbox"/> 鉄骨鉄筋コンクリート造(SRC) <input type="checkbox"/> 壁式プレキャスト鉄筋コンクリート造(WPRC) <input type="checkbox"/> プレキャスト鉄筋コンクリート造(PCR) <input type="checkbox"/>		
(4) 階数	地下 階 地上 1階 塔屋 階		
(5) 主要用途	その他(機械室)		
(6) 屋上付属物	kN	<input type="checkbox"/> キュービクル	kN <input type="checkbox"/> 広告塔 <input type="checkbox"/> 煙突
(7) 特別な荷重	<input type="checkbox"/> エレベータ 人乗(ロープ式油圧式) <input type="checkbox"/> リフト KN <input type="checkbox"/> ホイスト kN <input type="checkbox"/> 倉庫積載床用 N/m <input type="checkbox"/> 受水槽 kN		
(8) 付帯工事	<input type="checkbox"/> 門扉 <input type="checkbox"/> 擁壁 <input type="checkbox"/>		
(9) 増築計画	<input type="checkbox"/> 有() <input type="checkbox"/> 無()		
(10) 構造計算ルート	X方向ルート 1 Y方向ルート 1		

2. 使用構造材料

(1) コンクリート					
※ 各図面の使用材料参照とする。					
適用箇所	種類	設計基準強度 F c=N/mm ²	調合管理強度 N/mm ²		
捨てコンクリート	<input checked="" type="checkbox"/> 普通	18	18 15		
土間コンクリート	<input checked="" type="checkbox"/> 普通	21	24 18		
基礎、基礎梁	<input checked="" type="checkbox"/> 普通	21	24 15		
柱・梁・床・壁	<input checked="" type="checkbox"/> 普通	21	24 18 腰壁		
ラップコンクリート	<input checked="" type="checkbox"/> 普通	18	18 15		
押えコンクリート	<input type="checkbox"/> 普通、 <input type="checkbox"/> 軽量				
混和剤					
(2) コンクリートブロック(CB)					
<input type="checkbox"/> A種 <input type="checkbox"/> B種 <input type="checkbox"/> C種 厚□100、□120、□150、□190、					
(3) 鉄筋					
種類	径	使用箇所	継手法		
<input checked="" type="checkbox"/> SD295A	D10~D16	基礎、床版、腰壁等	<input checked="" type="checkbox"/> 重ね継手		
<input type="checkbox"/> SD295B					
<input checked="" type="checkbox"/> SD345	D19	地中梁等	<input checked="" type="checkbox"/> ガス圧接継手		
<input type="checkbox"/>					
<input type="checkbox"/>			<input type="checkbox"/> 特殊継手		
<input type="checkbox"/> 丸鋼	SR235		()		
<input type="checkbox"/> 溶接金網(JIS G 3551)					
(4) 鉄骨					
種類	使用箇所	現場溶接			
<input checked="" type="checkbox"/> SS400	□SM400	<input checked="" type="checkbox"/> SN400A(⑤)C			
梁、水平プレート、吊り材、振れ止め等		<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無			
<input type="checkbox"/> STK400	□STKR400	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無			
<input checked="" type="checkbox"/> BCR295	□BCP235	<input type="checkbox"/> 柱			
<input type="checkbox"/> SM490B	□SN490B(⑥)	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無			
<input type="checkbox"/> SSC400		<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無			
<input type="checkbox"/> STK400		<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無			
○使用箇所の詳細については別途図示とする。					
(5) ボルト					
<input checked="" type="checkbox"/> 高力ボルト					
□普通: F 8 T <input checked="" type="checkbox"/> 特殊: S 10 T 認定品 (M12 □M16 □M20 □M22 □M24)					
<input type="checkbox"/> 中ボルト					
高力ボルトすべり係数試験 <input type="checkbox"/> 要 <input type="checkbox"/> 否					
M 1.2 高力ボルト導入強力確認試験 <input type="checkbox"/> 要 <input type="checkbox"/> 否					
<input type="checkbox"/> アンカーボルト (径・長さは鉄骨部材リストによる)					
<input type="checkbox"/> SS400 M16 L= mm ナット(□シングル、□ダブル)					
<input checked="" type="checkbox"/> ABR400 M20 L= 700 mm ナット(□シングル、 <input checked="" type="checkbox"/> ダブル)					
<input type="checkbox"/> L= mm ナット(□シングル、□ダブル)					
<input type="checkbox"/> 頭付スタッド φ= L= mm 使用箇所(□柱 □大梁 □小梁)					
使用箇所(□柱 □大梁 □小梁)					
(6) 屋根、床、壁					
□ALC板 厚					
<input type="checkbox"/> 折版 H= 170mm 厚= 0.8mm					
<input type="checkbox"/> デッキプレート 型式 厚					
<input type="checkbox"/> キーストンプレート 型式 厚					
<input type="checkbox"/> 特殊デッキプレート Q L 99-50-12					

3. 地盤

(1) 地盤調査資料			
<input checked="" type="checkbox"/> 有(□敷地内 □近隣)	<input type="checkbox"/> ボーリング調査	<input checked="" type="checkbox"/> 平板載荷試験	<input type="checkbox"/> 試掘
		<input type="checkbox"/> 液状化判定	<input type="checkbox"/> 現場透水試験
<input type="checkbox"/> 無(<input type="checkbox"/> 調査予定 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無)			<input type="checkbox"/> 土質試験
(2) 地盤調査計画			
<input type="checkbox"/> ボーリング調査	<input type="checkbox"/> 静的貫入試験	<input type="checkbox"/> 標準貫入試験	<input type="checkbox"/> 水平地盤反力係数の測定
	<input type="checkbox"/> 物理調査	<input type="checkbox"/> 平板載荷試験	
(3) 地盤調査及び試験杭の結果により、長杭、杭柱、直接基礎の深さ、形状を変更する場合もある			
(4) ボーリング標準貫入値、土質構成 (基礎・杭の位置を明記すること)			
(5) ボーリング名			
深度(m)	標高(m)	土質区分	孔内水位(m)
標準貫入試験			
深度(m)			
0	10	20	30
40	50	60	
備考			
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			

5. 鉄筋コンクリート工事

(1) コンクリート

コンクリートはJIS認定工場の製品とし施工に関してはJASS5(2009)による。			
<input checked="" type="checkbox"/> セメントは、JIS R5210の普通ボルトランドセメントを標準とする。			
<input type="checkbox"/> 調合計画は、工事開始前に工事監理者の承認を得ること。			
<input type="checkbox"/> コンクリートの調合管理強度は、設計基準強度(Fc)に、次表の構造体強度補正値(S)を加えた値以上とする。			
構造体強度補正値(S)は、下表により、セメントの種類及びコンクリートの打込みから材齢28日までの予想平均気温に応じて定める。			
構造体強度補正値(S)の標準値			
セメントの種類	コンクリート打込みから材齢28日までの 予想平均気温の範囲(℃)		
普通ボルトランドセメント	8 ≤ θ	0 ≤ θ < 8	
混合セメントのA種	5 ≤ θ	0 ≤ θ < 5	
早強ボルトランドセメント	3	6	
構造体強度補正値(S) (N/mm)			

寒中、暑中、その他特殊コンクリートの適用を受ける期間に当る場合は、調合、打ち込み、養生、管理方法など必要事項について、工事監理者の承認を得ること。

フレッシュコンクリートの塩化物測定は、原則として工事現場で(財)国土開発技術研究センターの技術評価をうけた測定器を用いて行い、試験結果の記録及び測定器の表示部を一回の測定ごとに撮影した写真(カラー)を保管し承認を得る。測定検査の回数は、通常の場合、1日1回以上とし、1回の検査における測定試験は、同一試料から取り分け3回行い、その平均値を試験値とする。

構造体コンクリートについて、現場の圧縮強度試験供試体(JASS5T-603)は、現場水中養生、または現場封かん養生とし、採取は打ち込み工区ごと、打ち込み日ごととする。また、打ち込み量が150m³をこえる場合は150m³ごとまたは、その端数ごとに1回を標準とする。1回に採取する供試体は、適当な間隔をおいた3台の運搬車からその必要本数を採取する。なお、供試体の数量は、特別指示なき場合は、1回当り6本以上とし、そのうち4週間に3本を用いる。

ポンプ打ちコンクリートは、打ち込み位置にできるだけ近づけて垂直に打ち、コンクリートの自由落下高さは、コンクリートが分離しない範囲とする。ポンプ圧送に際しては、コンクリート圧送送技士または同等以上の技能を有する者が従事すること。なお、打ち込み継続中における打継ぎ時間間隔の限度は、輸送時間が約1時間の場合外気温が25°C未満の場合は150分、25°C以上の場合は120分以内とする。

(2) 鉄筋

鉄筋は、JIS G3112の規格品とする。JIS G3117の再生鋼を使用する時は管理者の承認を得ること。施工はJASS5(2003)による。

高強度せん断補強筋は、JIS G 3137に規定されるD種1号適合品とする。

鉄筋コンクリート構造配筋標準図(1)

1. 一般事項

- (1) 構造図面に記載された事項は、本標準図に優先して適用する。
 (2) 記号
 d…異形棒鋼の呼び名に用いた数値 丸鋼では径 D…部材の成 R…直径
 @…間隔 r…半径 C…中心線 d0…部材間の内法距離 h0…部材間の内法高さ
 S T…あら筋 H O O P…帯筋 S. H O O P…補強筋 φ…直径又は丸鋼

2. 鉄筋の加工、かぶり

(1) 鉄筋末端部の折曲げの形状

折曲げ角度	180°	135°	90°
図			
鉄筋の余長	4d以上	6d以上(※4d以上)	8d以上(※4d以上)
折曲げ内法寸法Rは、S R235は3d以上、S D295A、S D295B S D345のD16以下は3d以上、D19以上は4d以上。 S D390は5d以上。			

(5) 鉄筋のあき

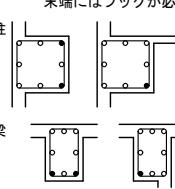
丸鋼では径、異形鉄筋では呼び名に用いた数値1.5d以上
 粗骨材の最大寸法の1.25倍以上かつ25以上



図の印の鉄筋の重ね継手の末端にはフックが必要

(6) 鉄筋のフック (a~fに示す鉄筋の末端部にはフックを付ける。)

- a. 丸鋼 b. あら筋、帯筋 c. 煙突の鉄筋
 d. 梁(基礎梁は除く)の出すみ部分の鉄筋(右図参照)
 e. 単純梁の下端筋
 f. その他、本配筋標準に記載する箇所



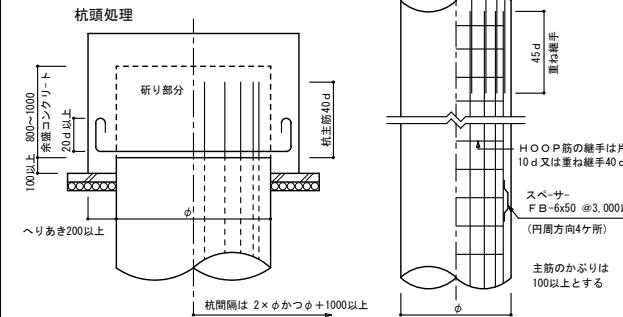
3. 柱

(地震力等の水平力を考慮する必要のある場合は、別途検討すること。)

(1) PRC杭、又はPHC杭の全てに補強を行う

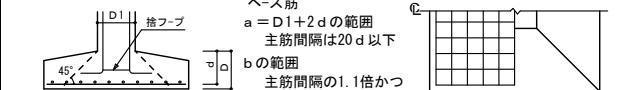
所定の位置に止まった場合		所定より低く止まった場合	
	HOOP @150		HOOP @150
補強筋	16φ以下	3d以上	3-D16
杭径	16φ以下	4d以上	45φ
補強筋	19φ以上	6d以上	50φ
HOOP	D16	D19以上	60φ
			40φ
			50φ
			60φ

(2) 現場打ちコンクリート杭

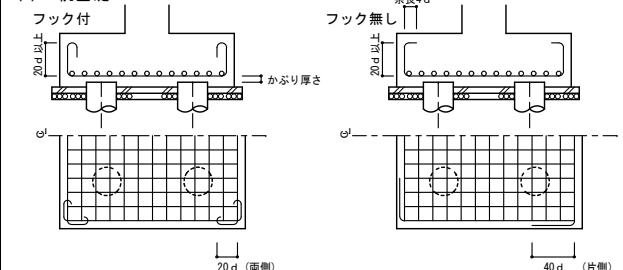


4. 基礎

(1) 直接基礎



(2) 杭基礎



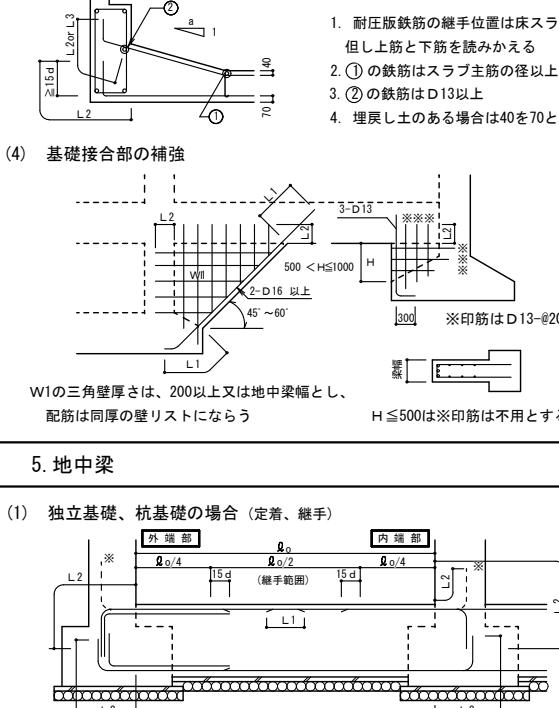
(3) かぶり厚さ

部 位		部 位		設計かぶり厚さ (mm)
土に接しない部分	屋根スラブ	屋 内	30	30
	床スラブ 床非耐力壁	屋 外	40 (1)	
柱	屋 内	40	30	
柱 は 耐 力 壁	屋 外	50 (2)	40 (1)(30)	
擁 壁	50 (3)	40		
土に接する部分	柱・はり・床スラブ・耐力壁	50	40 (4)	
基礎・擁 壁		70	60 (4)	

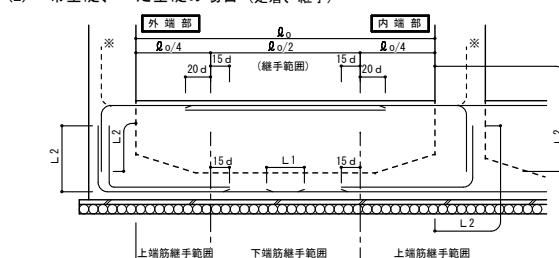
【注】(1) 耐久性上有効な仕上げのある場合、工事監理者の承認を受けて30mmとすることができる。
 (2) 耐久性上有効な仕上げのある場合、工事監理者の承認を受けて40mmとすることができる。
 (3) コンクリートの品質および施工方法に応じ工事監理者の承認を受けて40mmとすることができる。
 (4) 軽量コンクリートの場合は、10mm増しの値とする。
 (5) ()内は仕上げがある場合。

5. 地中梁

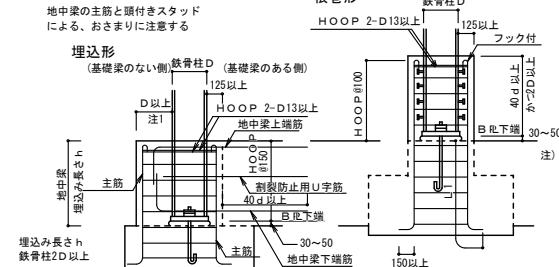
(1) 独立基礎、杭基礎の場合(定着、継手)



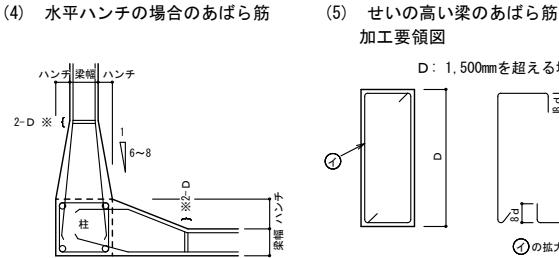
(2) 布基礎、べた基礎の場合(定着、継手)



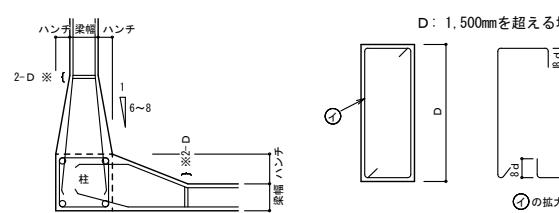
(3) 小規模鉄骨造の柱脚固定の配筋



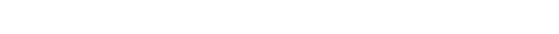
(4) 斜め柱・斜め梁



(5) せいの高い梁のあら筋加工要領図

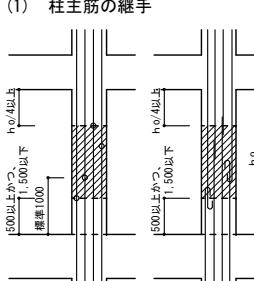


(6) 二段筋の保持

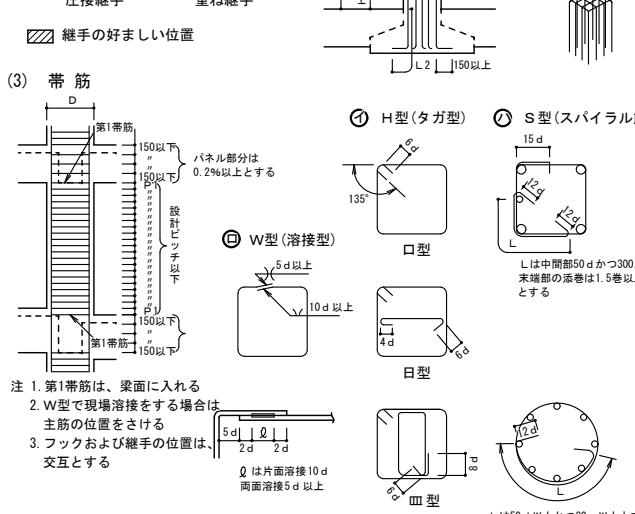


6. 柱

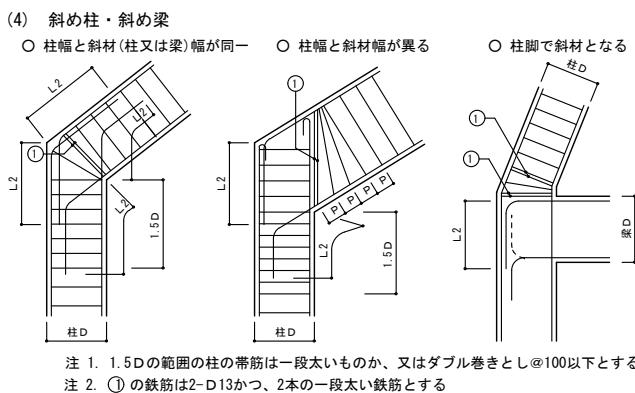
(1) 柱主筋の継手



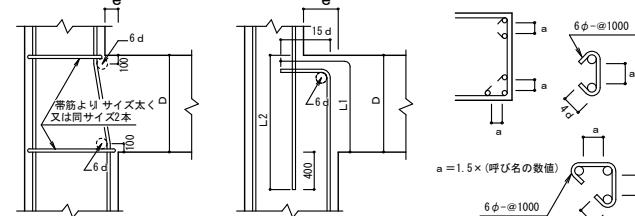
(2) 柱主筋の定着



(3) 帯筋



(4) 斜め柱・斜め梁

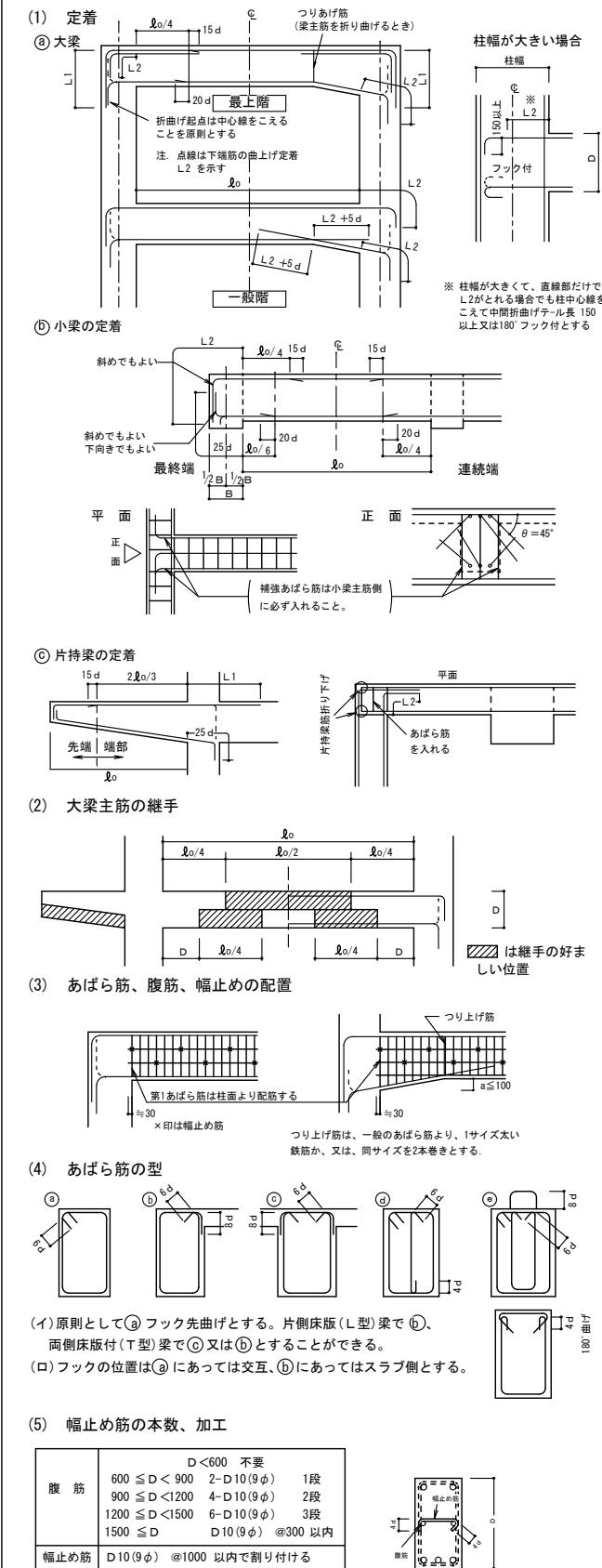


(5) 継り

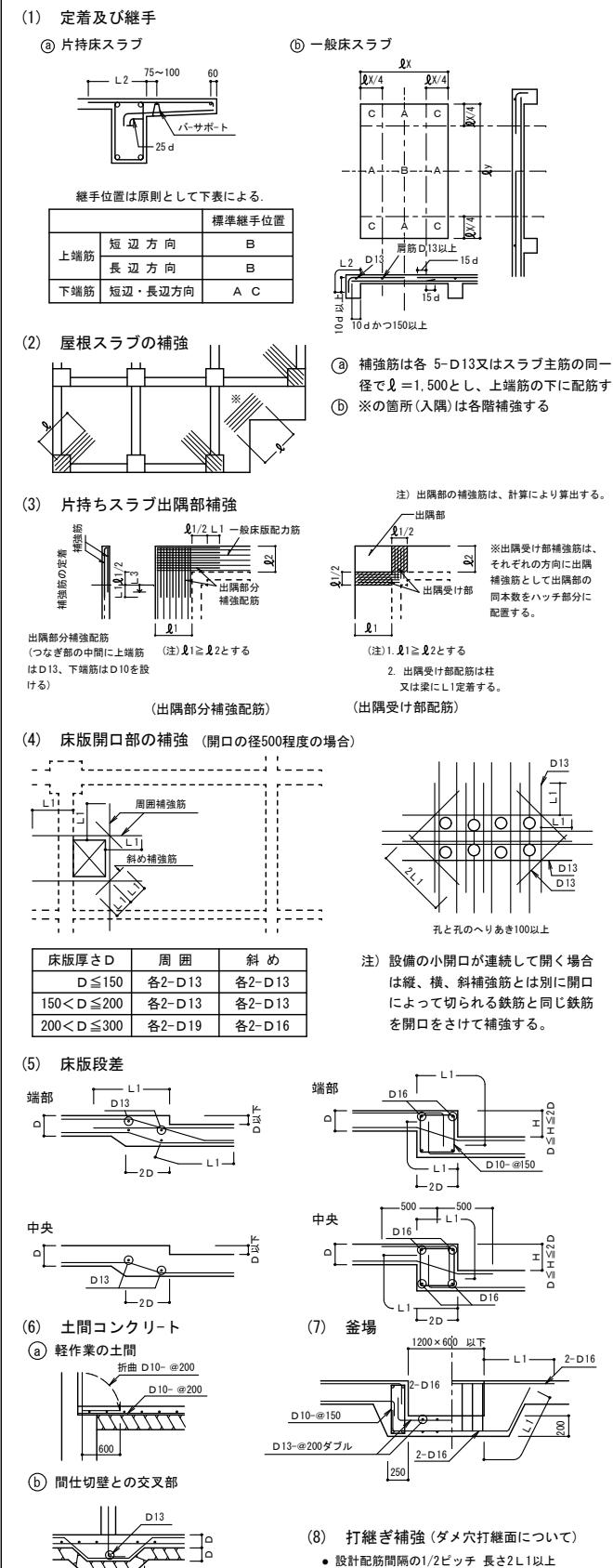


鉄筋コンクリート構造配筋標準図(2)

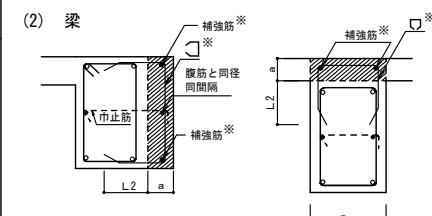
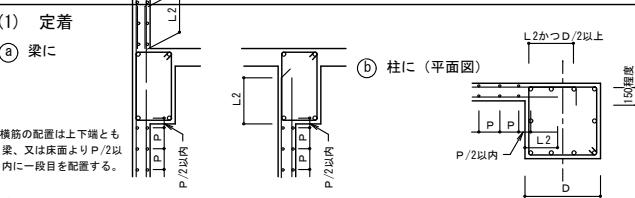
7. 大梁、小梁、片持梁



8. 床版

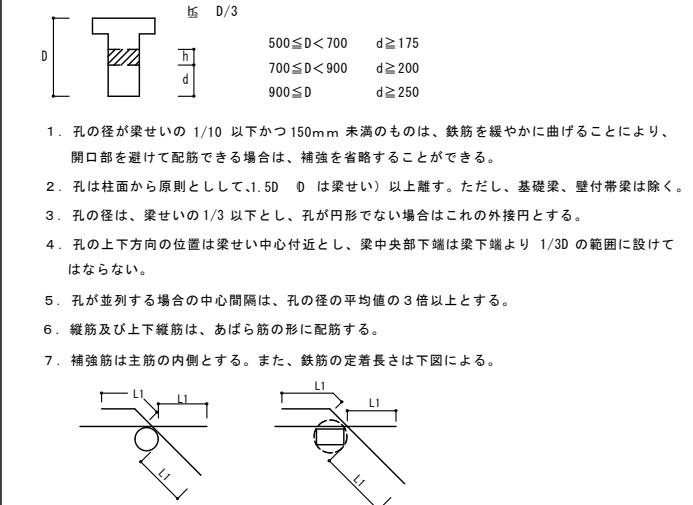


9. 壁



* 梁の端部は、梁と同径、同ピッチとする。
○ 梁の端部は、梁主筋の1段落し径(D16以上)とする。
○ $D \leq 350$ の場合は補強筋を3本以上とする。
○ $a \leq 10 \leq a \leq 200$ の場合に適用する。
○ 梁下端増打コンクリートの場合も上端増打コンクリートを補強とすると。
○ ハッチ部分は増打コンクリートを示す。

11. 梁貫通孔補強要領



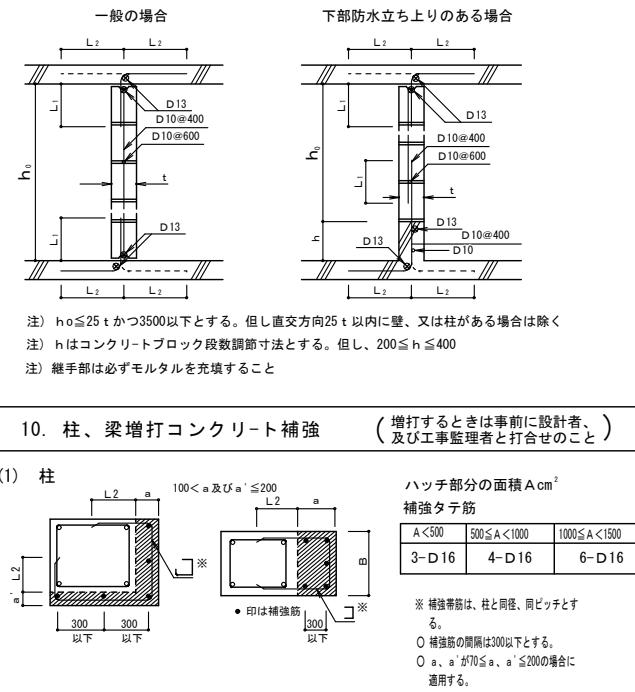
8. 梁貫通孔補強の配筋種別は下記による。

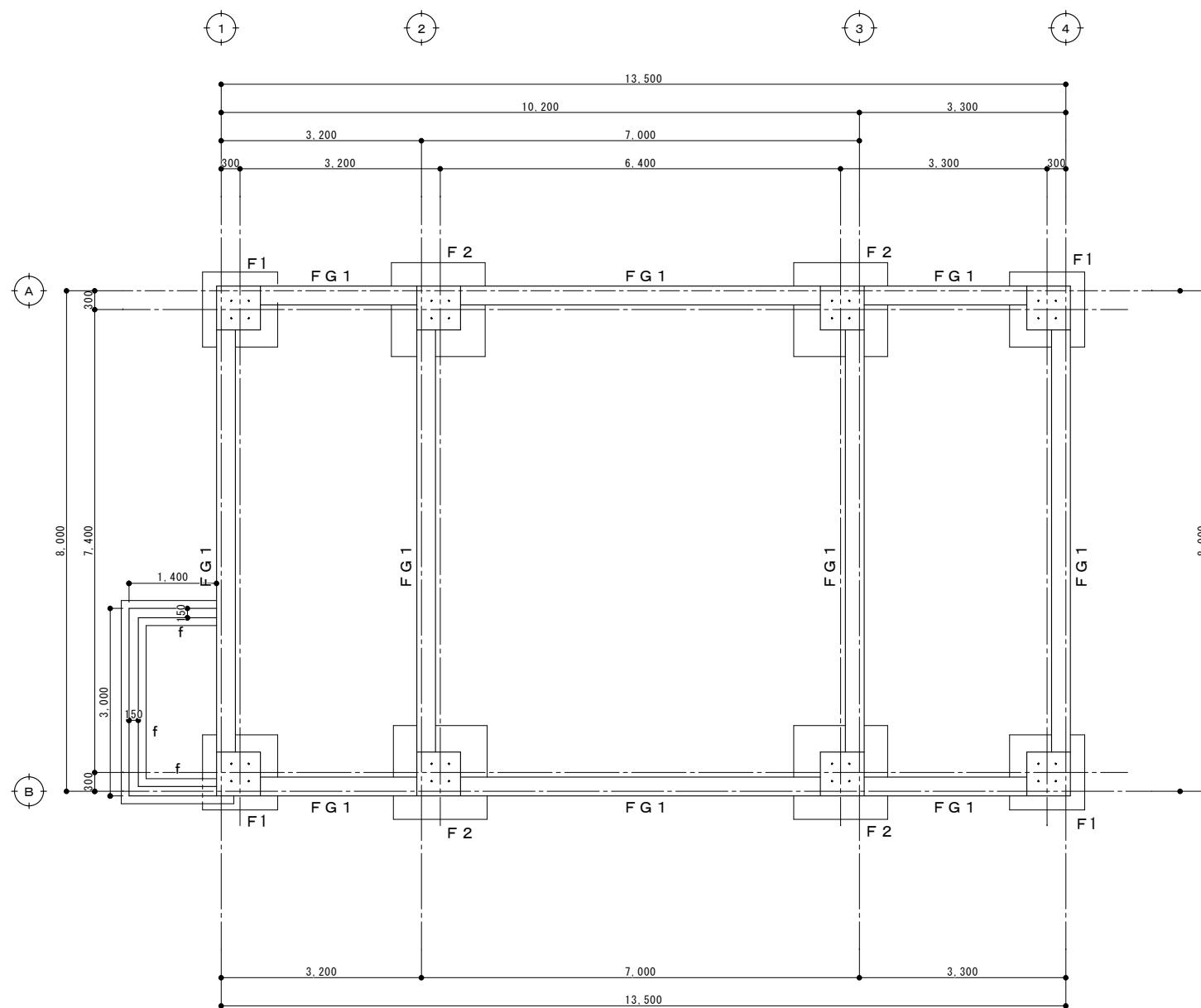
貫通孔径 $\phi 150 \rightarrow H3$
 $\phi 200 \rightarrow H4$

配筋種別	斜め筋	縦筋	横筋	上筋下筋	配筋図
H 1	なし			なし	
H 2		なし		なし	
H 3	2-2-D13				
H 4	4-2-D16				
H 5	4-2-D16				
H 6	4-2-D19	4-2-D13	2-2-D13	3-2-D13	
H 7	4-2-D22				

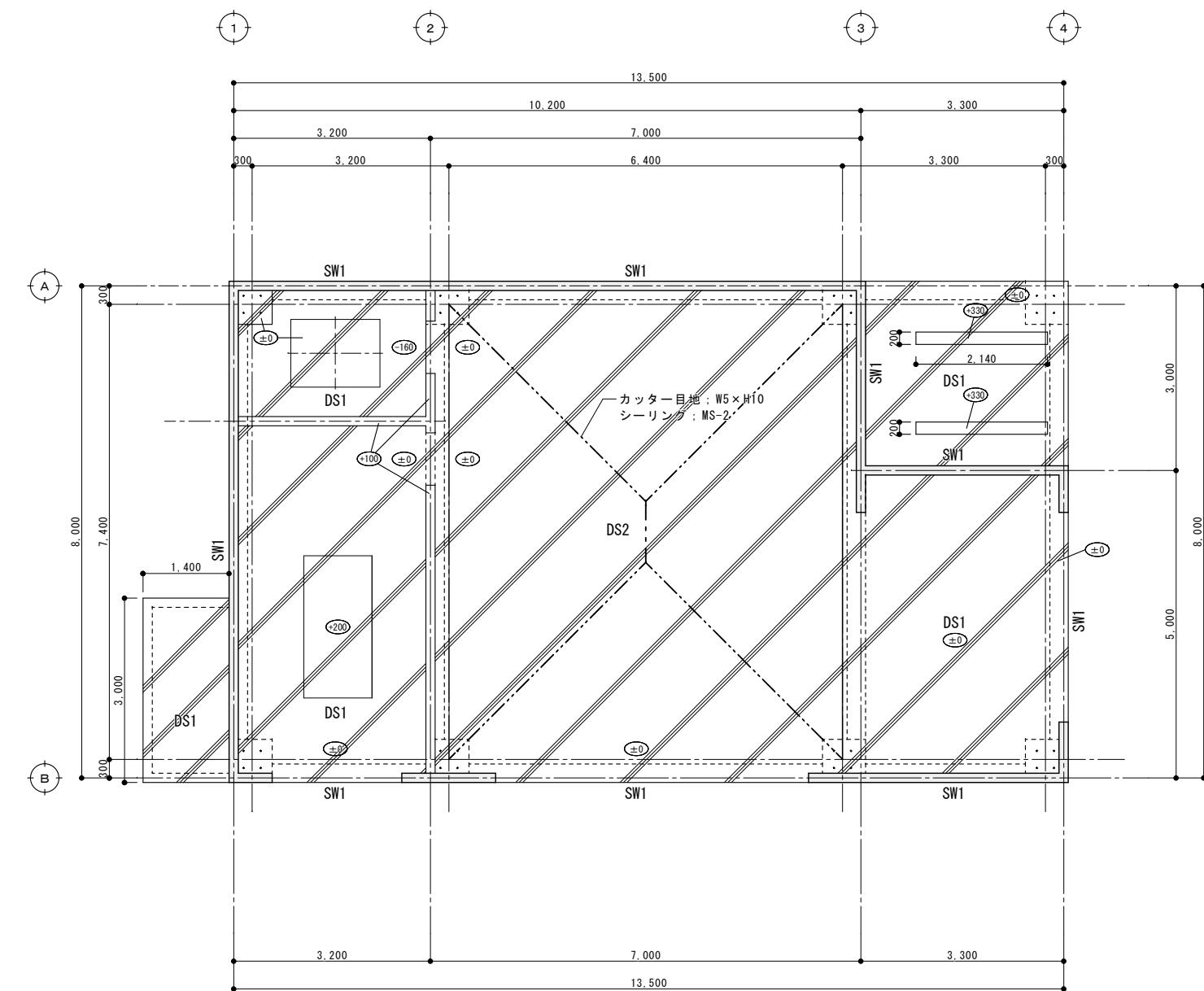
(注) -----は、一般部分のあら筋を示す。

10. 柱、梁増打コンクリート補強



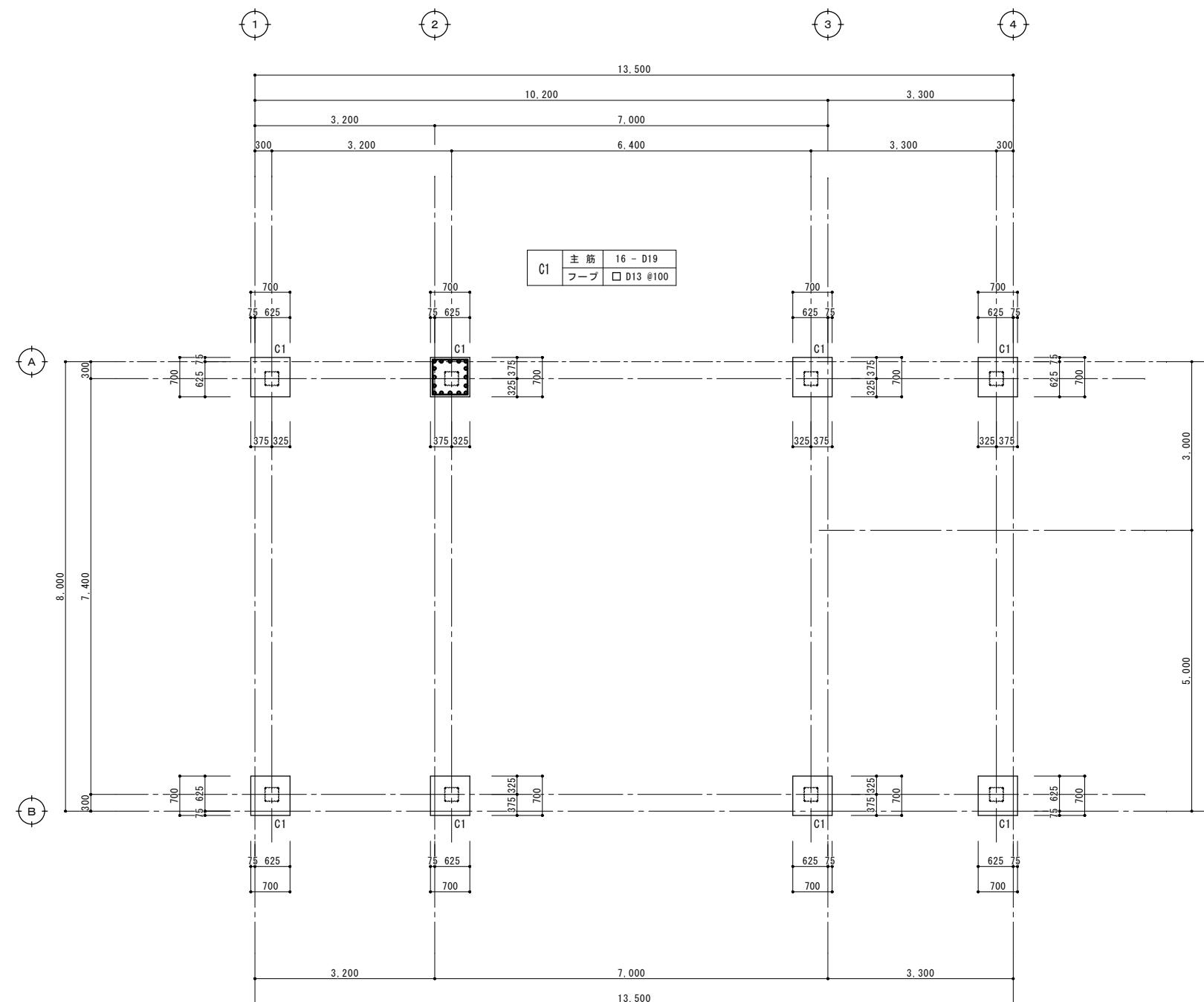


基礎伏図 S=1/50



床伏図 S=1/50

ふれあいTOWN 芽室町役場	記事	建設都市整備課 建築係 芽室町東2条2丁目14番地 TEL 0155-62-9726 FAX 0155-62-7036	工事名	芽室町総合体育館パワースタンド発電設備工事 (建築主体)	担当	総数
	図名	基礎伏図・床伏図	縮尺	A 1 : 1/50 A 3 : 1/100	図面 番号	S - 04



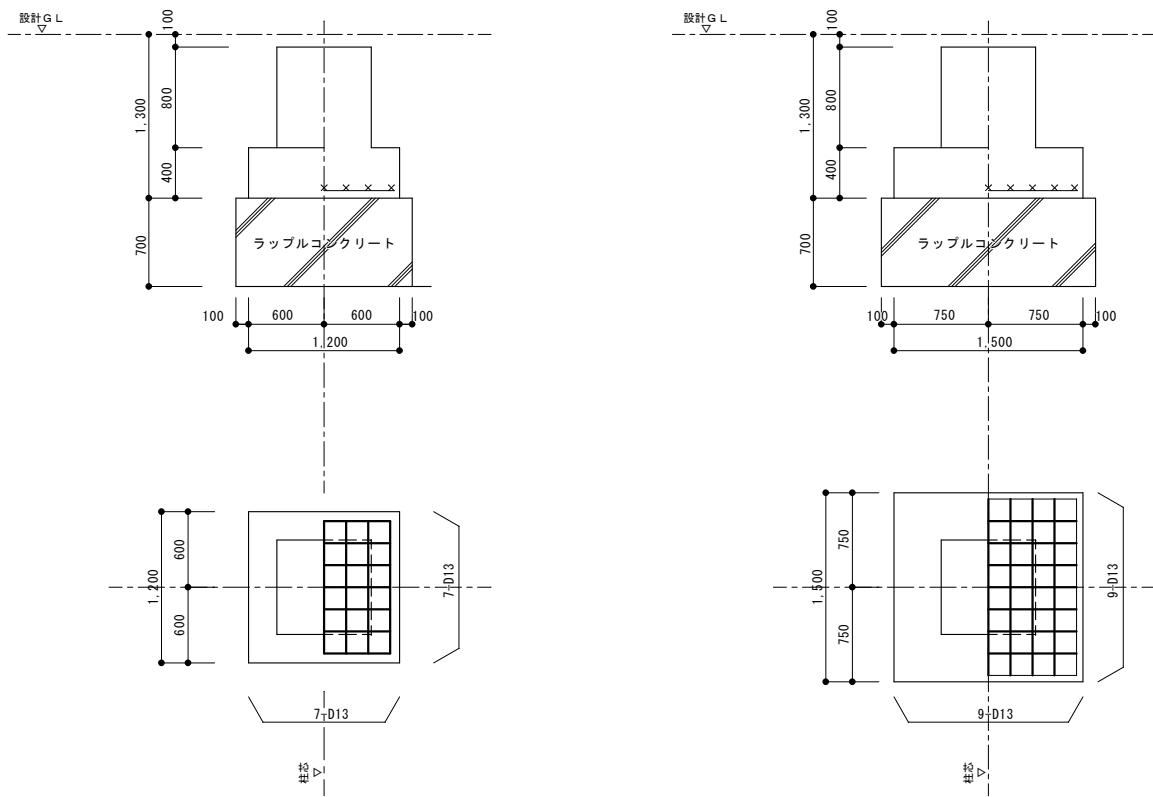
柱脚伏図

S=1/50



- F 1 -

- F2 -

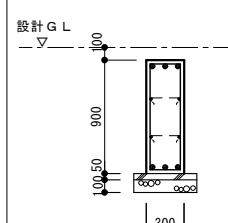


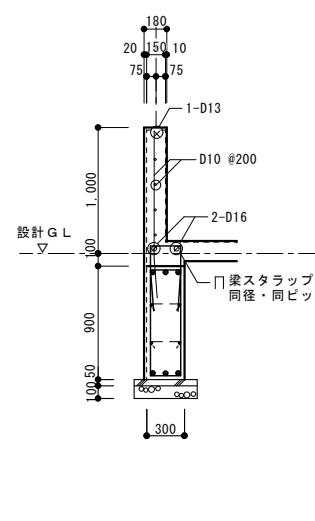
床版リスト S=1/30

DS1

DS2

※ 特記なき中止符 □ D10 @1,000 とする

符 号	FG1
位 置	全断面
断 面	
上 端 筋	3-D19
下 端 筋	3-D19
ス タ ラ ッ プ	□ D10 @200
腹 筋	4-D10

符 号	SW 1
断 面	 <p>180 20 150 10 75 75</p> <p>1-13</p> <p>D10 @200</p> <p>2-D16</p> <p>1,300</p> <p>設計 G L</p> <p>30</p> <p>900</p> <p>30</p> <p>300</p> <p>口 染スタラップと 同径・同ピッチ</p>

機械基礎 S=1/30

f S=1/30

ふれあいTOWN 芽室町役場

記事

建設都市整備課 建築係
芽室町東2条2丁目14番地
TEL 0155-62-9726

11

草窓駅総合体育館バッハコ発電設備工事（建築主体）

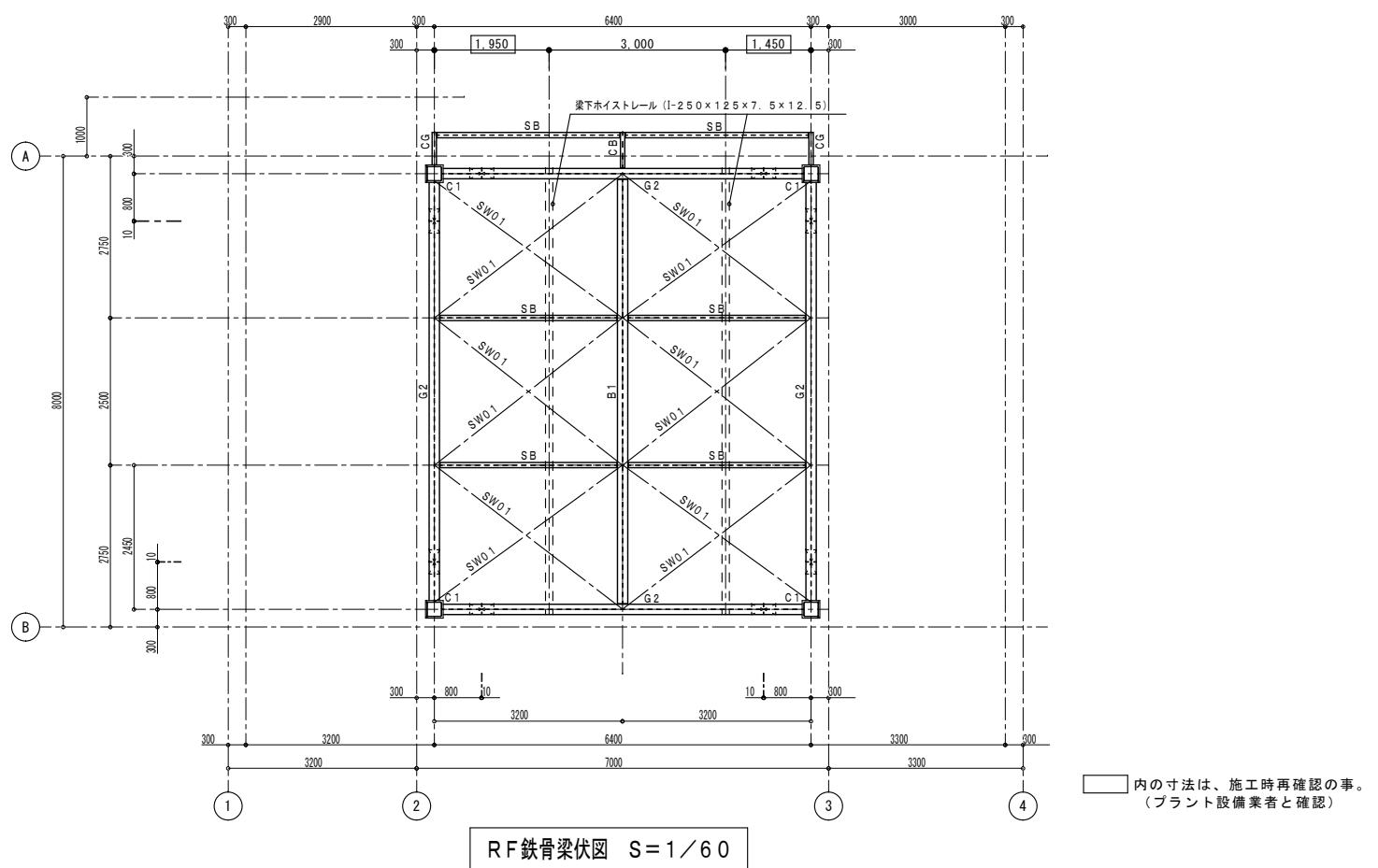
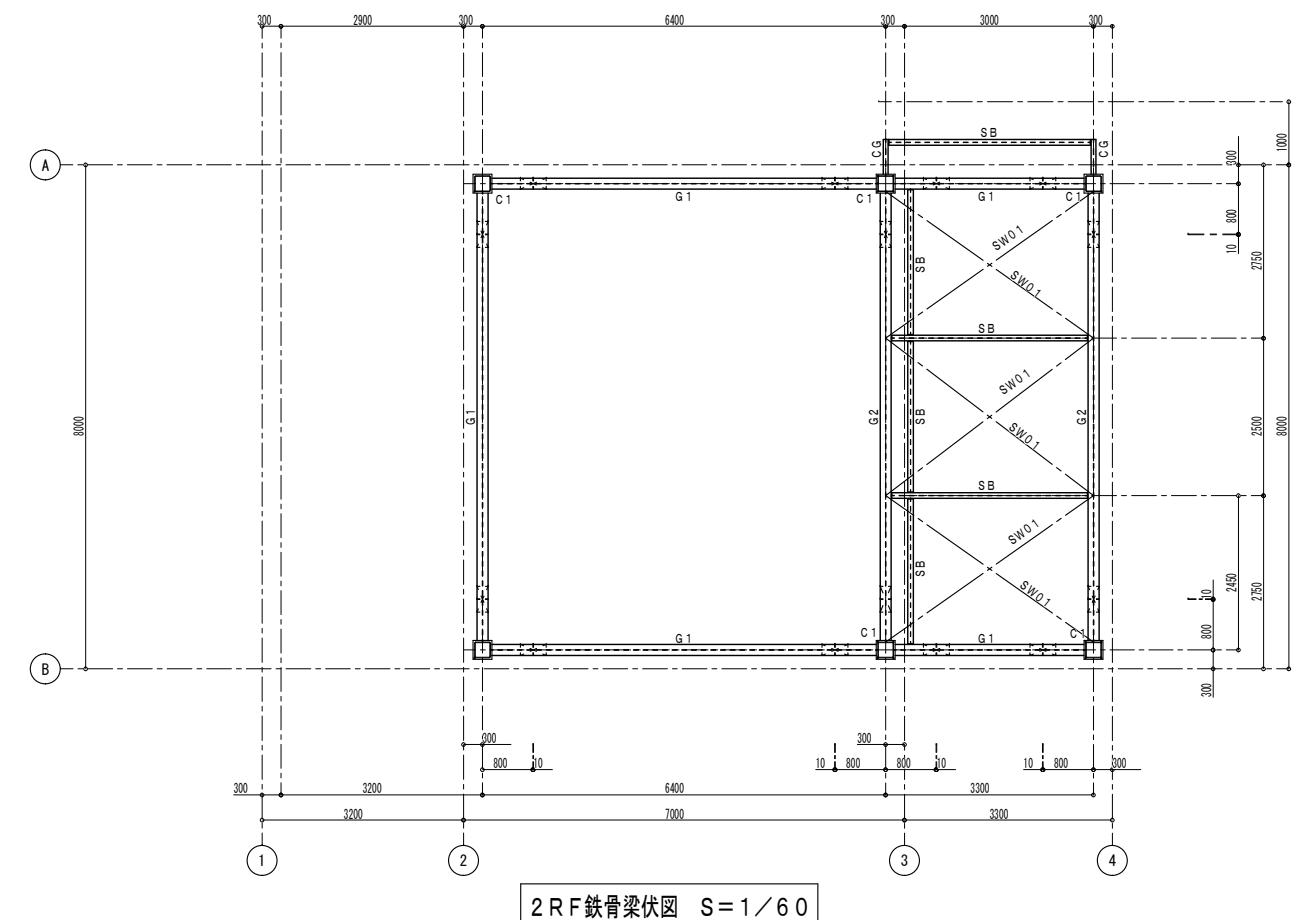
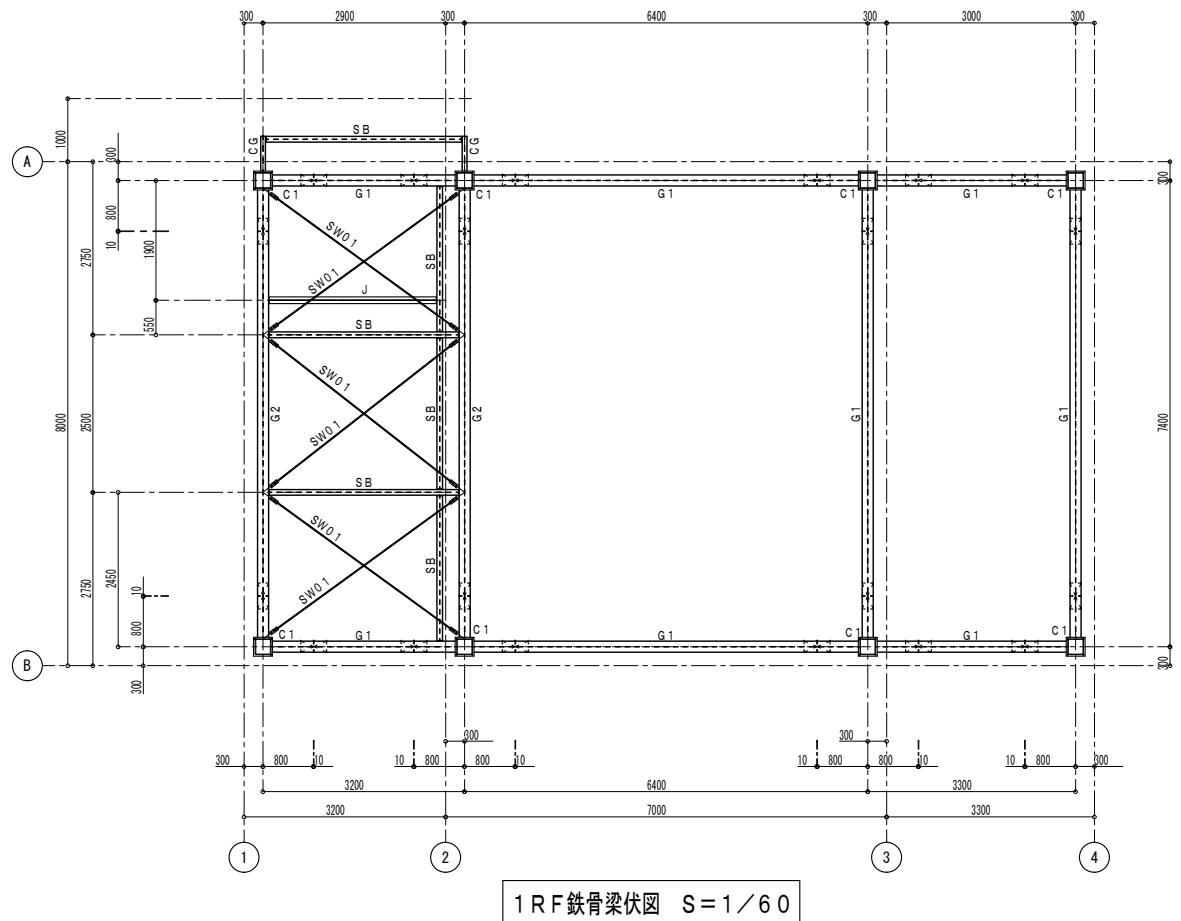
担当 総数

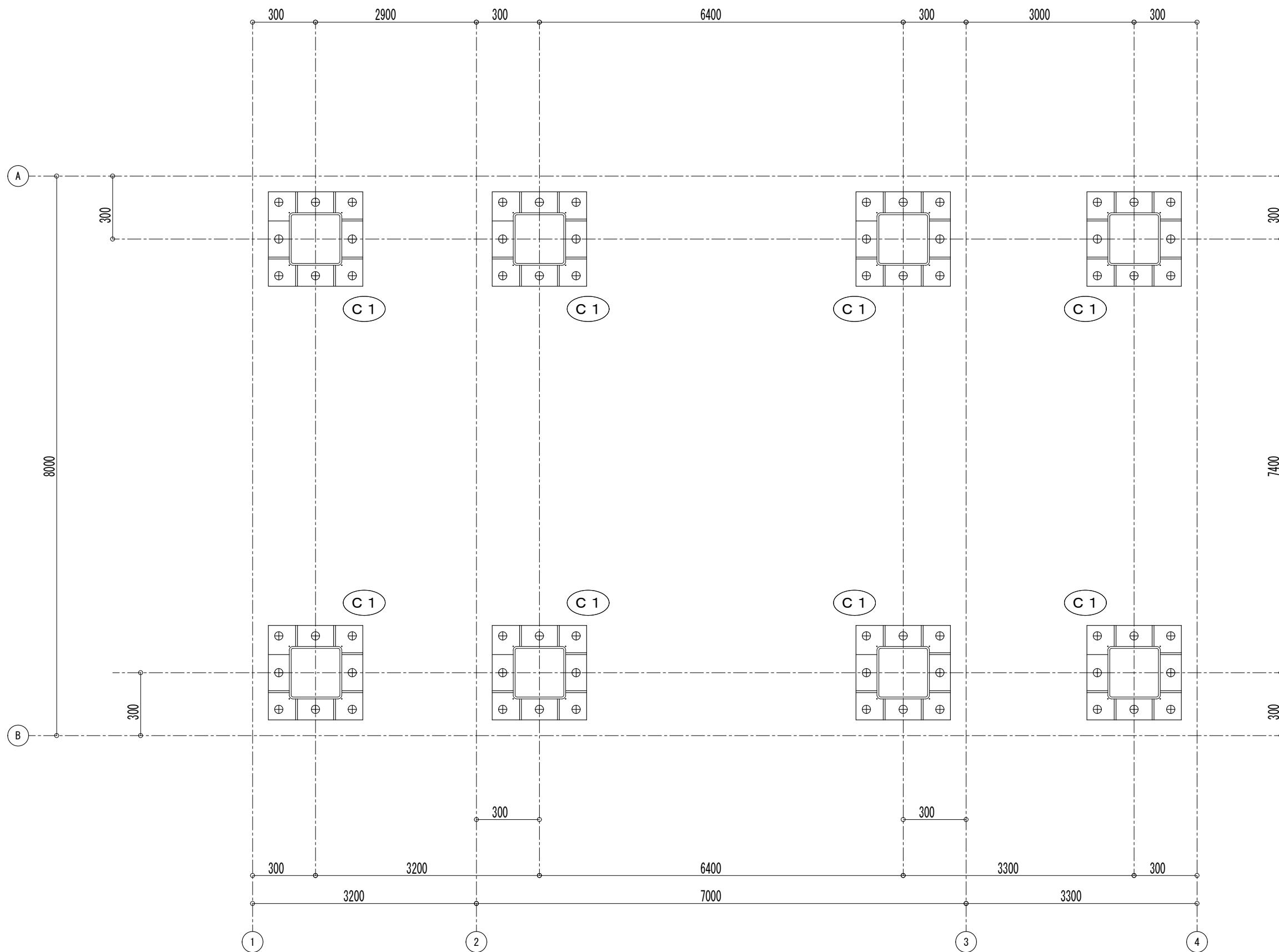
総数

TEL 0155-62-9726
FAX 0155-62-7036

縮 尺 A 1 : 1/30
A 3 : 1/60

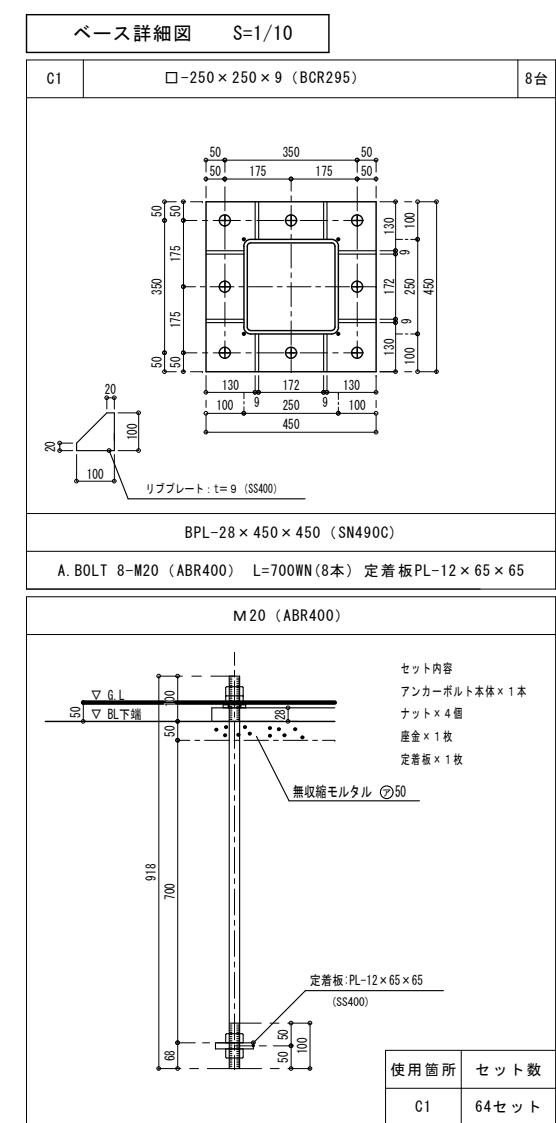
担当 総数

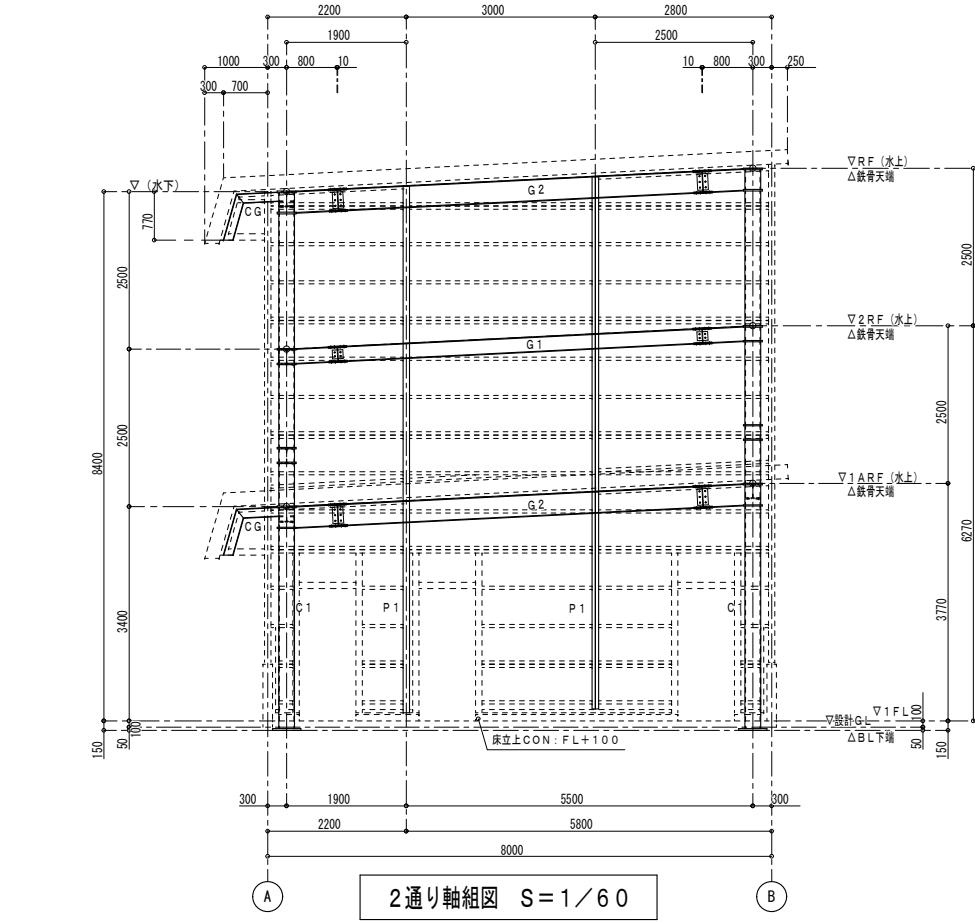
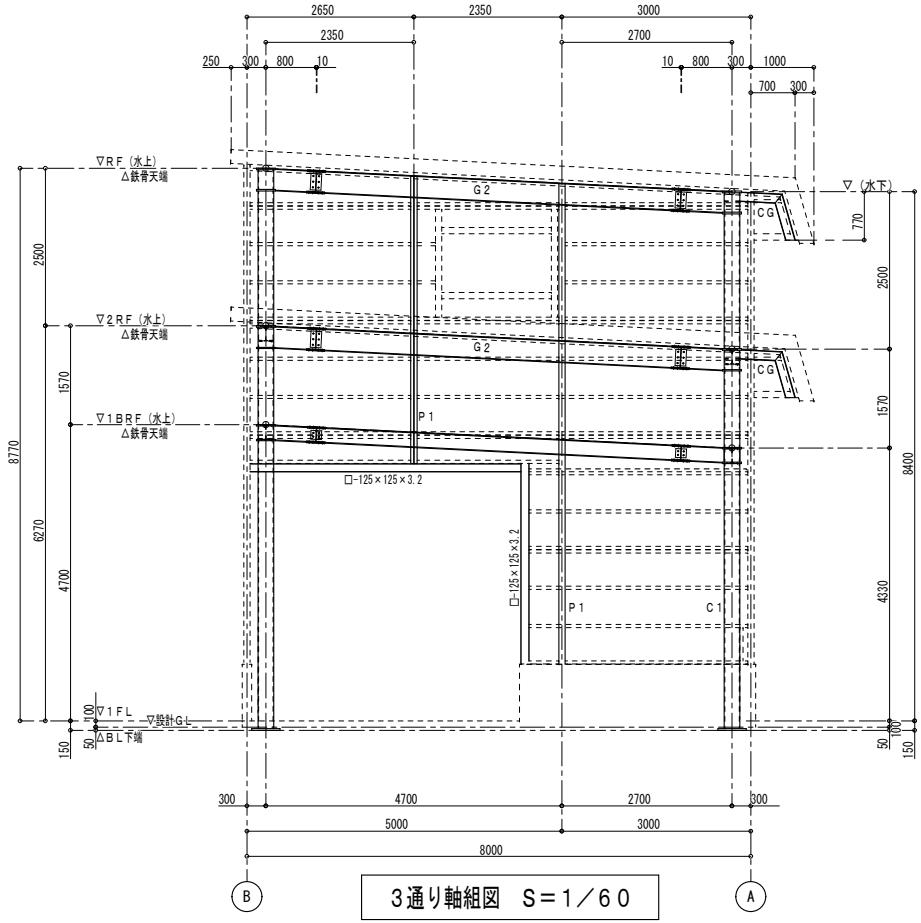
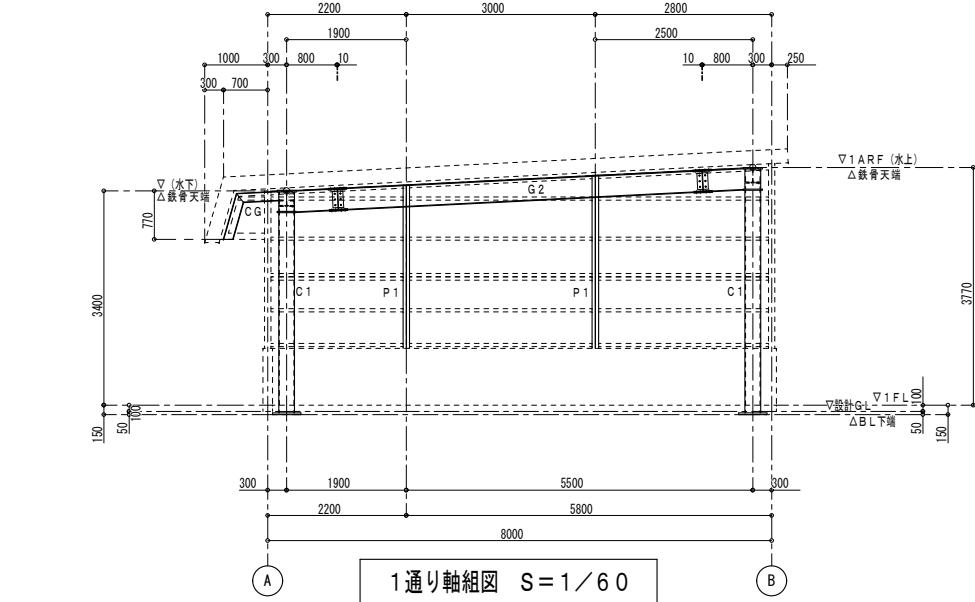
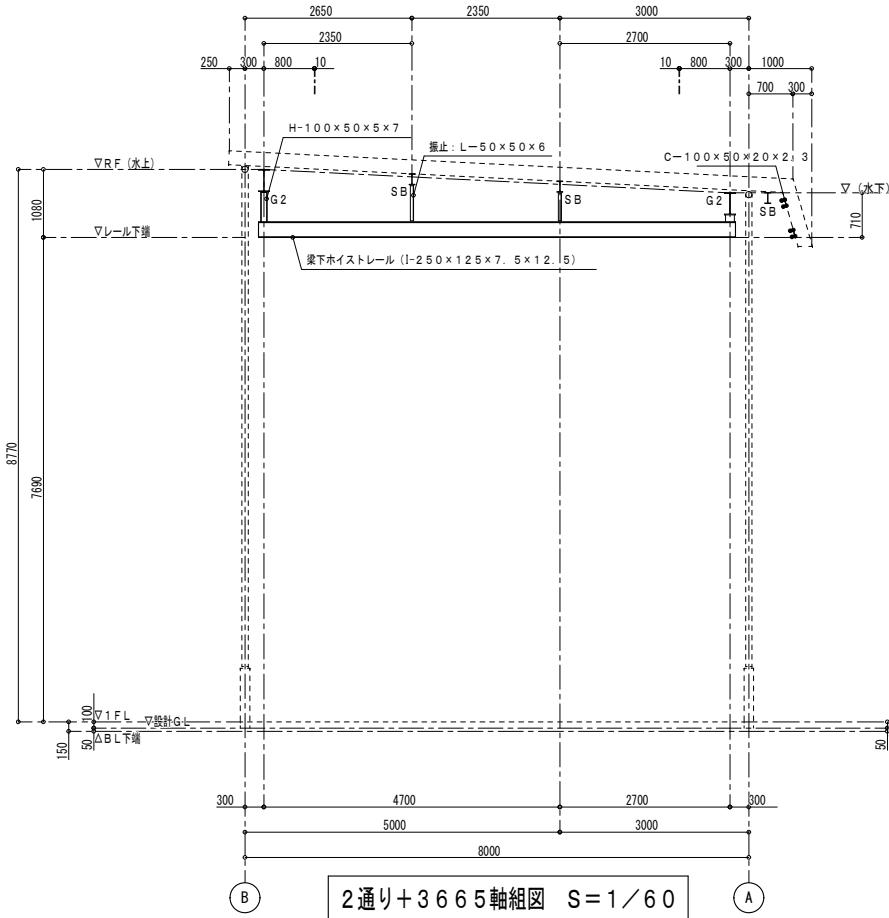
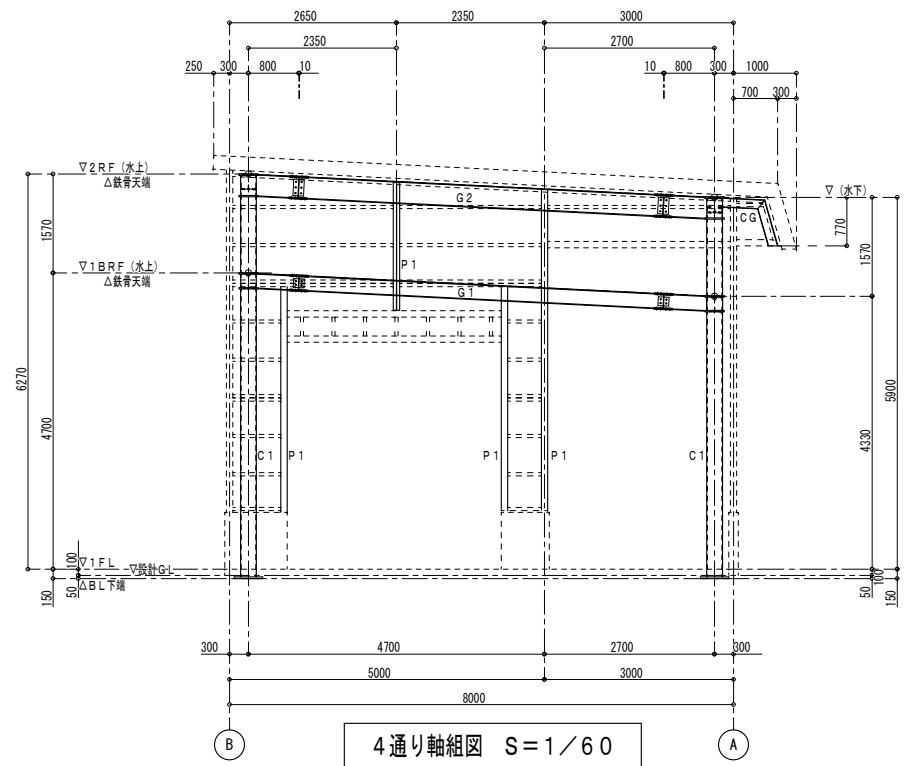


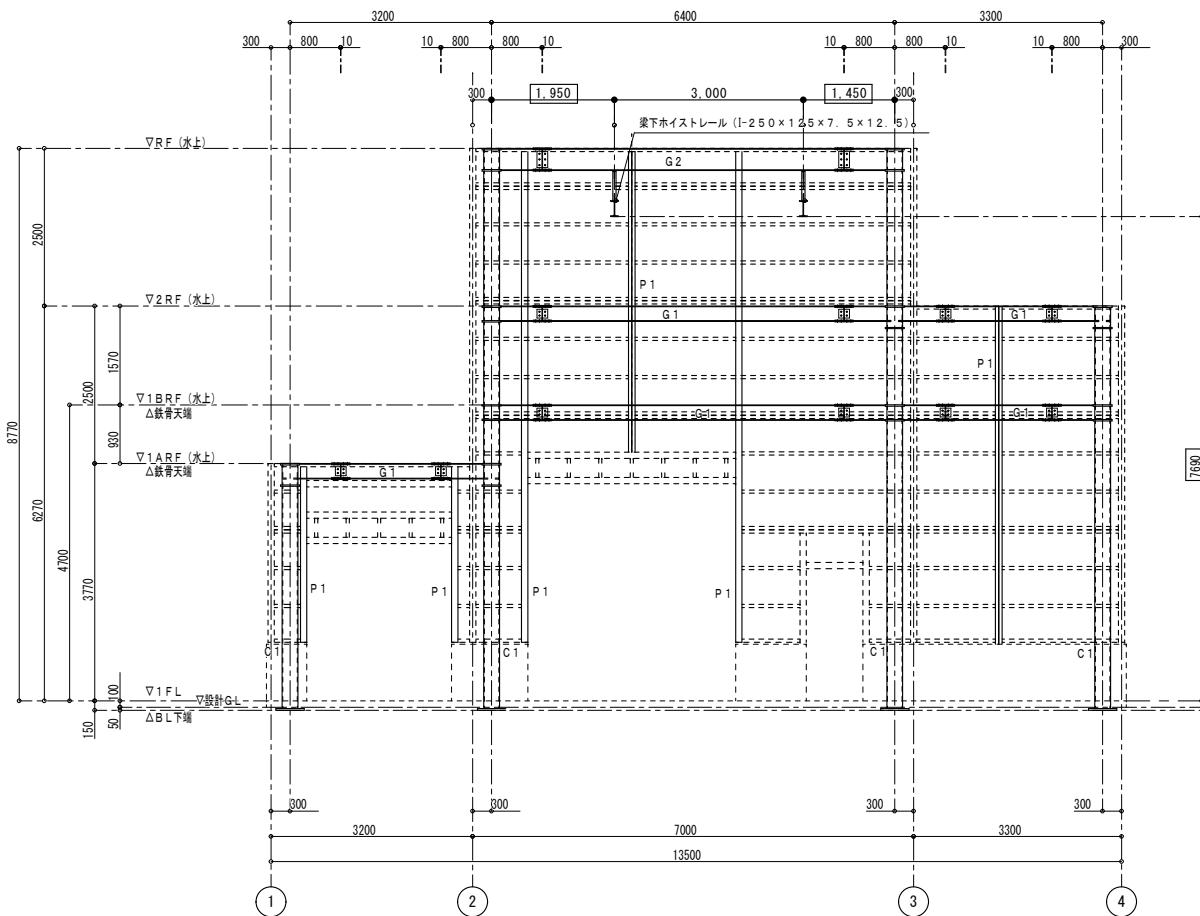


アンカープラン S=1/10:30

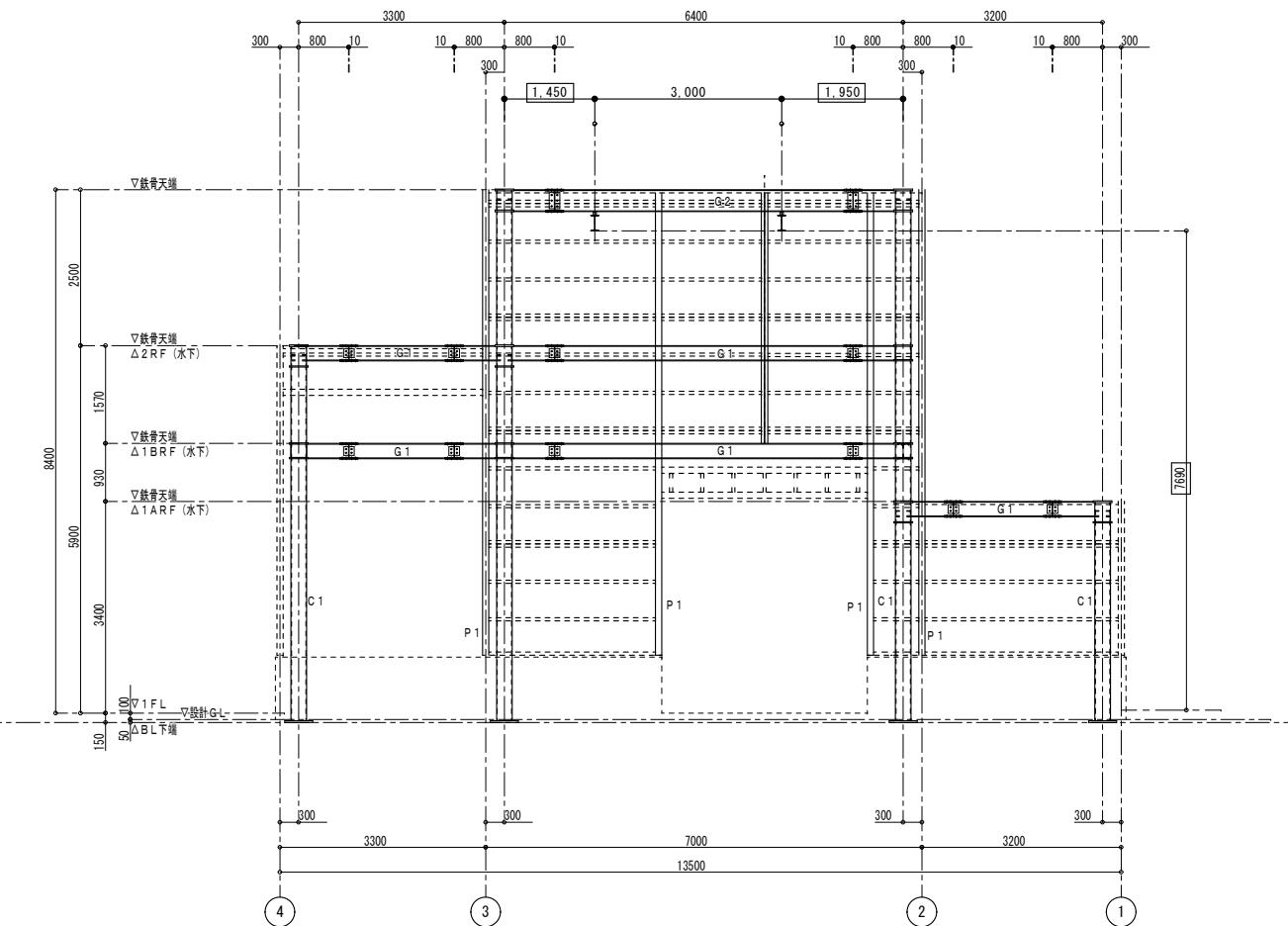
※ BL下端=設計GL-50







B通り軸組図 S=1/60



A通り軸組図 S=1/60

□ 内の寸法は、施工時再確認の事。
(プラント設備業者と確認)

符号	材種	部材リスト	継手記号	JOINTリスト	長さ	本数	備考
C1	BCR295	□-250×250×9					
G1	SN400B	全断 H-244x175x7x11	GJ1	F 2PL- 9×175×290 HTB 4-M20	L=60		
				4PL- 9×70×290 W 2PL- 9×140×170 HTB 2-M20	L=55		
G2	SN400B	全断 H-350x175x7x11	GJ2	F 2PL- 9×175×290 HTB 4-M20	L=60		
				4PL- 9×70×290 W 2PL- 6×260×170 HTB 3-M20	L=50		
CG	SS400	H-150×75×5×7					
CB	SS400	H-150×75×5×7					
B1	SS400	H-346×174×6×9	BJ1	PL-9 HTB 4-M20	L=45		
J	SSC400	2C-100×50×20×2.3	DJ1	PL-6 中ボルト 2-M12			
SB	SS400	H-175×90×5×8	BJ2	PL-6 HTB 2-M16	L=35		
間柱(P1)	SSC400	2C-100×50×20×2.3	PJ1	PL-6 中ボルト 2-M12			
ドウブチ	SSC400	C-100×50×20×2.3	DJ1	PL-6 中ボルト 2-M12	L=**		
水平プレース	SS400	1-M16 ターンバックル付き	BRJ1	PL-9 HTB 1-M16	L=45		
ホイストビーム	SS400	I-250×125×7.5×12.5	BJ4	PL-9 HTB 3-M16	L=40		
(吊り材)	SS400	H-100×50×5×7	BJ3	PL-6 HTB 2-M16	L=35		
(振れ止め)	SS400	L-50×50×6	*	PL-6 HTB 2-M16	L=35		

